取扱説明書

保証書付

IC レコーダー

品番 ICR-PS515RM

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、後々のために大切に保管してください。

- この取扱説明書は「保証書付」です。裏面の「お買い上げ日」「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失した利益、ご使用に要した費用または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

ご愛用者登録について

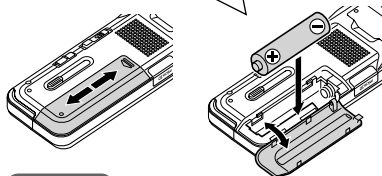
ご愛用者登録およびアンケートのご記入をお願いいたします。
http://products.jp.sanyo.com/support/user/index.html

ニッケル水素電池はリサイクルへ

まず録音して聴いてみよう！

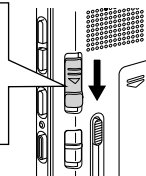
1 電池を入れて、電源を入れる

詳細 ☞ 16、17 ページ

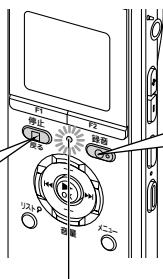
① 電池カバーを開け、付属のエネループ充電池 * を入れる

ご注意

電池の（＋）と（－）の向きを間違えないように入れ、電池カバーを閉めてください。

* 付属のエネループ充電池は充電済みですので、すぐにお使いいただけます。

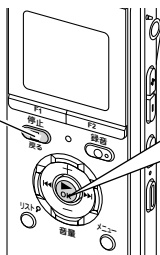
② 電源 / ホールドスイッチを矢印の方向にスライドする

カレンダー設定画面が表示された場合は 19 ページをご参照のうえ、日時を設定してください。あとで設定する場合は F2/ 閉じるボタン、または停止 / 戻るボタンを押して設定画面を終了してください。

2 録音してみよう

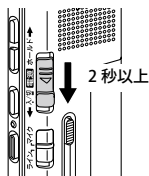
詳細 ☞ 27 ページ

録音 LED が点滅し、録音スタンバイ画面になったら、もう一度録音ボタンを押してください。

3 聴いてみよう（再生する）

詳細 ☞ 49 ページ

再生を途中で停止するときは、停止 / 戻るボタンを押す

① 再生ボタンを押して、再生を開始する

使い終わったら…

電源 / ホールドスイッチを矢印の方向に 2 秒以上スライドして、電源を切ってください。

SEE YOU!

録音したファイルの消去について

不要になった録音ファイルは消去することができますが、消去したファイルは一旦ゴミ箱へ移動するため、録音できる容量（録音可能時間）は増えません。定期的にゴミ箱を空にして、いつでも録音できるよう空き容量を作っておきましょう。

☞**「ファイルを 1 件消去する」（65 ページ）**
☞**「ゴミ箱機能」（68 ページ）**

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

⚠	「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
	「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

本体について

⚠ 警告

■ 分解・改造しない

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。また、始めから音量を上げ過ぎていると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

⚠ 警告

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が 5℃未満、または 35℃を超える場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでの録音はノイズが入りますので避けてください。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

電池について

⚠ 危険

エネループ充電池

■ エネループ以外の充電池を使用しない

安全のため、エネループ以外の充電池、または模造品は使用しないでください。
エネループ以外の充電池を使用すると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となります。

■ 本機、または指定された充電器以外では充電しない

他の充電器で充電すると、過度あるいは異常な電流での充電状態となって電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

⚠ 危険

エネループ充電池 / アルカリ乾電池

■ 液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐに取り出して使用を中止し、火気から遠ざける

- 異常状態のまま使用を続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。
- 液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。

⚠危険 エネループ充電池　⚠警告 アルカリ乾電池

■ 変形・分解・改造しない

変形、分解、電池に直接ハンダづけするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因となります。

■ プラスとマイナスを針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因となります。

■ 火中に投入したり、加熱しない

絶縁物が溶けたり、安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火や破裂の原因となります。

■ 外装をはがしたり、傷つけたりしない

外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどをすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

■ 指示通りに入れる

- 極性（プラスとマイナス）に注意し、表示通りに入れてください。
- 万一極性を逆に入れた場合、使用時に異常な電流が流れて、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

⚠警告 エネループ充電池 / アルカリ乾電池

■ 使用しているときに電池を抜かない

本機を使用しているときには電池を抜かないでください。データが壊れたり、故障の原因となります。

■ 長時間入れたままにしない

本機を長時間（1 週間程度）使用しないときは電池を取り出して、涼しい場所で保管してください。

■ 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める

そのまま続けて充電すると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。

⚠注意 エネループ充電池 / アルカリ乾電池

■ 録音や、録音内容を消去するときは、残量を確認する

- 録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったときは、すぐに録音をやめて、充電または新しい電池に交換してください。
- 消去の途中で電池切れになると、録音内容は消去できません。

■ 廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

⚠ 注意

エネループ充電池

■ 充電して使う

- 長時間使用しなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。充電中に電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- アルカリ乾電池は充電しないでください。

電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

充電式電池の廃棄について

ニッケル水素電池はリサイクルへ

エネループ（ニッケル水素電池）はリサイクルシステムが整備されています。寿命がきたり不要になった充電池は、（＋）（－）端子部にテープなどを貼って、リサイクルマークのある協力店や特定の回収窓口にある回収 BOX へお入れください。

充電式電池の回収やリサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

正しくお使いいただくために必ずお守りください

本機のお手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本機の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

時刻表示について

本機の時刻表示は、長時間使用していると誤差が生じることがあります。定期的にカレンダー設定されることをおすすめします。また、タイマー予約録音をする前には、時報などで正確な時刻を設定してください。

microSDHC/microSD カードについて

- **他の機器で使用していたり、未使用のカードは、必ず本機でフォーマットをしてからご使用ください。**（☞ 67 ページ）
- **小さなお子さまの手の届くところには絶対に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。**
- 当社推奨のカードをご使用ください。その他のカードをご使用になると故障やデータの消失の原因となるおそれがあります。
  http://jp.sanyo.com/icr/support/gaibu.html
- カードは精密部品です。端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。また、曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 使用直後のカードは高温になることがあります。カードの取りはずしは、本機の電源を切り、カードの温度が下がるのを待ってからおこなってください。また、電源を入れたままカードを抜き差しすると、データを破損するおそれがあります。
- 極端に高温や低温になる場所や、直射日光の当たる場所、閉めきった車の中、暖房器具のそば、湿気やほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- カードを破棄する場合、内部データが流出するおそれがありますので、内部データを消去するだけでなく、カードを破壊したうえで廃棄することをおすすめします。
- カードに付属の取扱説明書をよくお読みください。

データ保存について

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容 (データ) の損失を防ぐために

1. 録音前には必ず試し録音をしてください。
2. 録音データを他の機器にバックアップしてください。
3. 電池の残量が充分にある電池をお使いください。

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。
下記などの場合、録音したデータが消失（破壊）することがあり、データの消失による損害、および逸失利益などに関し、当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

- カードの使用方法を誤ったとき
- カードが正しく機器に装着されていなかったとき
- カードが電気的・機械的なショックや力を受けたとき
- カードへのアクセス中にカードの抜き差しをおこなったり、機器の電源を切ったとき
- カードが寿命になったとき

本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

もくじ

本書の見かた

操作手順
[　　] は画面の選択項目です。

3 音量＋ / －ボタンで、[カレンダー設定] を選び、▶OKボタンを押す

操作する ボタン / スイッチ
操作や設定の際に使用するボタンはグレーです。

画面表示 *
操作や設定の際に表示される画面です。

* 画面表示は、設定内容により実際と異なる場合があります。

● 本書では、次の記号でお知らせしています。

ヒント	もう少し詳しい説明や、知っておくと便利な内容
ご注意	操作や設定の際に遵守していただきたい内容 ・ 注意事項を守らないと、正しく操作や設定がされなかったり、本機の故障やデータの損失につながるおそれがあります。
☞ ○○ページ	参照、あるいは補足する内容が記載されているページ

● microSDHC/microSD カードの表記について

「microSDHC カード」や「microSD カード」を総称して、本機では「SD カード」、本書では「カード」と表記しています。

・ 本書に掲載している画面表示はカードが本機に挿入されている場合の画面で説明しています。

●困ったときは

操作中に疑問に感じたり、故障かな？と思った時は、「故障かな？と思ったら（よくあるご質問）」（☞ 99 ページ）をご参照ください。

●音声ガイドについて

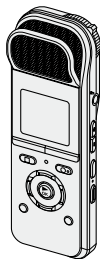
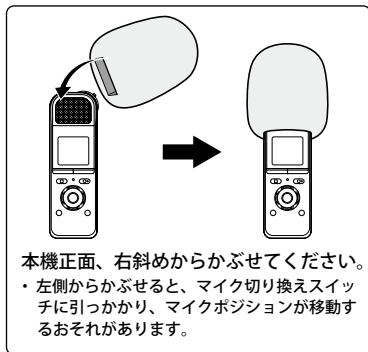
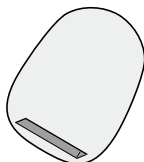
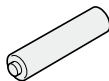
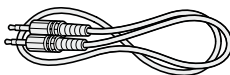
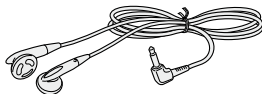
本機は、各操作を音声でご案内する「音声ガイド機能」（☞ 83 ページ）を搭載しています。

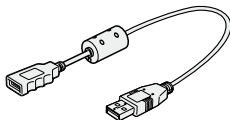
箱の中身を確認しよう

□ 本体

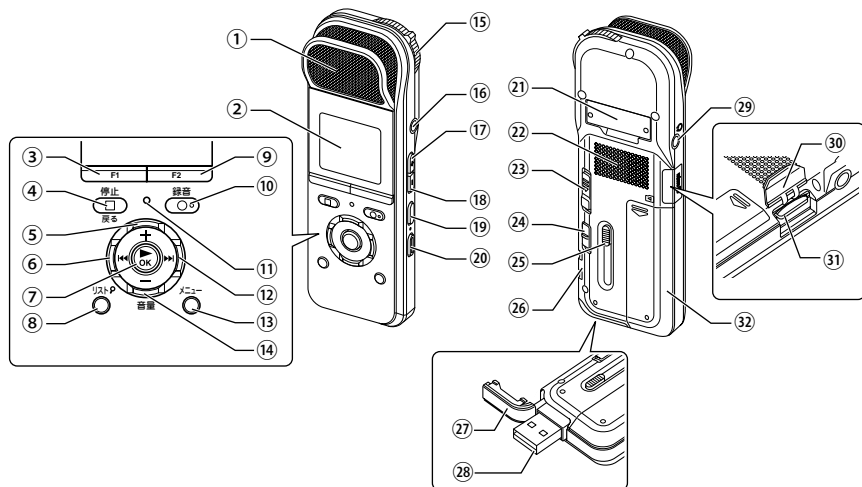
□ ウインドスクリーン（風防）

本機正面、右斜めからかぶせてください。

・ 左側からかぶせると、マイク切り換えスイッチに引っかかり、マイクポジションが移動するおそれがあります。

□ 単４形エネループ充電池

□ ステレオオーディオケーブル

□ インナーイヤー型ステレオイヤホン

・ リモコン付きなどの４極プラグ端子ステレオイヤホンは使用できません。

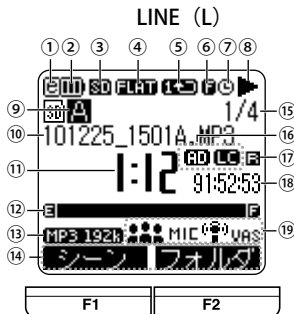
□ 専用 USB 延長ケーブル

□ 本書（保証書付）

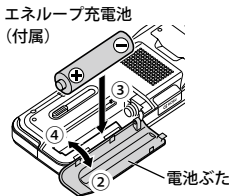
□ 別冊「録音ワンポイントアドバイス」

各部のなまえ

① 内蔵マイク
（指向性ステレオマイクと低域補正マイク）
② 液晶パネル
③ F1 ボタン
④ 停止 / 戻るボタン
⑤ 音量（＋）ボタン
⑥ ⏮ボタン
⑦ ▶OKボタン
⑧ リストボタン
⑨ F2 ボタン
⑩ 録音ボタン
⑪ 録音 LED
⑫ ⏭ボタン
⑬ メニューボタン
⑭ 音量（－）ボタン
⑮ マイク切り換えスイッチ
⑯ 外部入力（ライン / マイク）端子
⑰ 再生スピード（＋）ボタン
⑱ 再生スピード（－）ボタン
⑲ AB リピートボタン
⑳ 消去ボタン
㉑ スタンド
㉒ スピーカー
㉓ 電源 / ホールドスイッチ
㉔ 外部入力切り換え（ライン / マイク）スイッチ
㉕ USB 端子スライドスイッチ
㉖ ストラップ穴
㉗ USB 端子カバー
㉘ USB 端子
㉙ ステレオイヤホン端子（）
㉚ カードスロットカバー
㉛ カードスロット
㉜ 電池ぶた

液晶パネルの基本画面

主な液晶パネルの画面表示を紹介します。

● 録音用フォルダ : MIC_A 〜 D（A 〜 D）、LINE（L）

● 音楽用フォルダ : MUSIC（M）

① 電池切換表示
　エネループ充電池
　アルカリ乾電池
② 電池残量表示
③ カード表示
④ サウンド EQ モード表示
⑤ リピートモード表示
⑥ スキップモード
　ファイルスキップモード
　タイムスキップモード
⑦ タイマー表示
⑧ 本機の動作状態表示
　再生中
　● 録音中
　録音一時停止中
⑨ フォルダ名
　SD カードフォルダを選択時は が表示されます。
⑩ ファイル名
⑪ 録音経過時間表示（録音時）
　再生経過時間表示（再生時、停止時）
⑫ メモリ残量バー表示
　（録音時、RECORD モードでの停止時）
　再生位置バー表示
　（再生時、M フォルダでの停止時）
⑬ 録音モード表示（録音時、停止時）
　再生中ファイルの録音モード表示（再生時）
⑭ F1/F2 機能ボタン表示
　F1/F2 ボタンを押すと、それぞれに表示されている機能の動作を行います。
⑮ ファイル番号 / フォルダ内のファイル総数
⑯ 自動無音分割表示
　 Low Cut フィルタ表示
⑰ 録音可能時間表示（録音時、停止時）
　 ファイル再生総時間（再生時）
⑱ 録音可能時間（録音時、停止時）
　ファイル再生総時間（再生時）
　MP3 32kbps の場合は、1000 時間をこえると「1113H」のように時間だけの表示となります。
⑲ 録音シーン表示 *[1]
　MIC/LINE 外部入力設定表示
　マイク感度表示 / 低域補正マイク表示 *[1]
　0 〜 30/VAS　録音レベル表示 /VAS 表示 *[1]
　*[1] マイク録音時のみ表示されます。
⑳ タイトル名
　アーティスト名
　アルバム名
㉑ 再生経過時間
㉒ ノイズキャンセル表示
　再生時のみ表示されます。
㉓ ファイル再生総時間

電池を入れる

① 電池ぶたを矢印の方向にスライドさせる
② 電池ぶたを開ける
③ 電池を入れる
・ 電池の極性（＋ / －）の向きは、正しく入れてください。
④ 電池ぶたを閉じる
⑤ 電池ぶたを矢印の方向にスライドさせる

■本機で使用可能な電池について

単４形のエネループ充電池（付属）、またはアルカリ乾電池（市販品）をご使用ください。。
上記以外の電池では動作保証しておりません。

・ 共通設定画面の「電池切換」で使用する電池に設定してください。
「使用する電池の種類を切り換える」（84 ページ）

ご注意

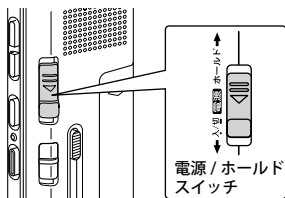
・ 電池を取りはずしたまま約 5 分以上放置すると、カレンダー設定がクリアされる場合があります。（現時刻の確認方法 22 ページ）

電池残量をチェックする

電池を使用している場合は、画面で電池残量が確認できます。録音の前には必ず残量をチェックしてください。また、電池持続時間は 104 ページを参照してください。

電池残量表示	電池の残量
	ほぼいっぱいの残量があります。
	残量が少なくなりました。
	もうすぐ録音や再生ができなくなります。
	電池を充電、または新しい電池に交換してください。

・ 電池が切れると、「電池切れです」と表示され、電源が切れます。
・ 周囲の温度や使用状態などにより、電池の持続時間が変わるため、残量表示は目安としてご利用ください。
・ 電池残量がほとんどない状態でも、電源を入れ直すと実際の電池残量よりも多い表示になることがあります。この場合、録音やタイマー録音を行うと、電池残量不足で録音が中断し、電源が切れることがありますのでご注意ください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

電源 / ホールドスイッチを「入 / 切」側にスライドさせる

- お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、日付と時刻を設定してください。

☞ **「日付と時刻を設定する（カレンダー設定）」の手順4（19 ページ）**

電源を切る

電源 / ホールドスイッチを「入 / 切」側に２秒以上スライドさせる

誤動作を防止する（ホールド機能）

電源 / ホールドスイッチを「ホールド」側にスライドさせる

- 「ホールド設定」が表示され、ボタン操作ができなくなります。
- 本機をかばんやポケットに入れているときは、誤動作防止のためホールド機能のご使用をおすすめします。
- ホールド機能を解除するときは、電源 / ホールドスイッチを戻します。

オートパワーオフ機能

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置（お買い上げ時 : 15 分）すると自動的に電源が切れる機能を備えています。

- 電源が切れるまでの時間は、変更することができます。（☞ 84 ページ）

レジューム機能

電源を入れたとき、前回電源を切ったときの状態（ファイルや再生位置）で起動する機能です。
ただし、以下の場合は、レジューム機能ははたらきません。

- フォルダを切り換えた時
- パソコンに接続したとき
- 電源を切らずに電池またはカードを抜いたとき
- 内蔵メモリ /SD カードを切り換えたとき
- AC 動作モードで電源を切らずに、本機と外部電源の接続をはずしたとき

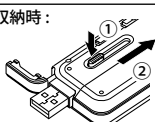
エネループを充電する

本機にエネループ充電池を装着した状態で、パソコンや USB 対応 AC アダプター（別売）で充電することができます。（☞ 89 ページ）

- 十分に充電してご使用ください。
- アルカリ乾電池は充電できません。

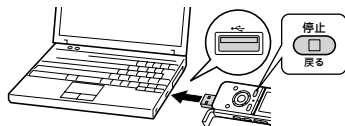
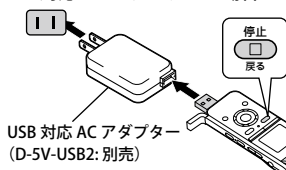
外部電源を使用する（AC 動作モード）

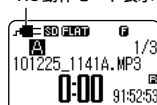
外部電源としてパソコンの USB 端子、または USB 対応 AC アダプター（別売）から電源を供給することができます。

1 USB 端子を出す

2 本機の電源が入ってないことを確認する

- USB 対応 AC アダプターはコンセントに差し込んでください。

3 停止 / 戻るボタンを押しながら、本機の USB 端子をパソコンまたは USB 対応 AC アダプター（別売）に接続する

●パソコンの場合

● USB 対応 AC アダプターの場合

- USB 延長ケーブルを使用する場合は、必ず付属の専用 USB 延長ケーブルを使用してください。

AC 動作モード表示

- AC 動作モードで起動します。
- AC 動作モードでは電池切換表示が に切り換わります。

■電源を切る

電源 / ホールドスイッチを「入 / 切」側に 2 秒以上スライドさせ、必ず本機の電源が切れたことを確認してから、本機を取りはずす

- 電源を切った後、再度電源を入れる場合は、必ず本機を取りはずし、接続しなおしてください。

AC 動作モードでのご注意

- AC 動作モードでの連続録音時間は、1 ファイルにつき最大 24 時間です。ただし、録音中のファイルサイズが 2GB を超える場合は、2GB で一旦録音を停止し、録音ファイルを作成します。その後引き続き新しいファイルで録音が再開されます。録音停止から録音再開までの約 2 秒間、録音されません。
- ファイルにアクセス中は、本機を USB 端子や USB 対応 AC アダプターから取りはずしたり、パソコンの電源を切ったりしないでください。ファイルが壊れる場合があります。
- 本機の使用中、および不適切な使用や停電などにより生じた損害、逸失した利益が発生しても、補償に関しては当社では一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

日付と時刻を設定する（カレンダー設定）

日付と時刻を設定しておくと、録音した日と時刻の情報をファイルごとに記録します（タイムスタンプ機能）。
また、録音した日と時刻の情報がファイル名となりますので、日付と時刻は正しく設定してください。

電源を入れる（☞ 17 ページ）

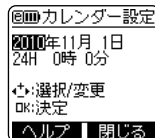
1 停止中に、メニューボタンを押す

2 音量＋ / －ボタンで、[共通設定] を選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、[カレンダー設定] を選び、▶OKボタンを押す

4 日付と時刻を設定する

① ⏮ / ⏭ボタンで、西暦、月、日、24H/12H（AM/PM）、時、分を選ぶ
② 音量＋ / －ボタンで数値を変更する

カレンダー設定
2010年11月 1日
24H 0時 0分
:選択/変更
OK:決定
ヘルプ 閉じる

5 ▶OKボタンを押す

・ カレンダーが設定されました。

6 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

ご注意

・ 電池を取り外したまま約 5 分以上放置して、カレンダー設定がクリアされると、電源を入れたときカレンダー設定画面が表示されます。再度カレンダー設定を行なってください。
（現時刻の確認方法 ☞ 22 ページ）

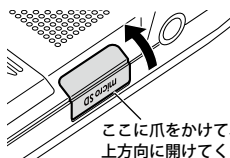
microSDHC / microSD カードを使用する

本機は、内蔵メモリのほかに microSDHC/microSD カードを使用することができます。

- microSDHC/microSD カードを、本機では「SD カード」、本書では「カード」と表記します。

カードは、本機でフォーマット（☞ 67 ページ）してからお使いください。

カードを入れる

1 電源を切って、スロットカバーを開ける

2 カードを入れ、スロットカバーを閉じる

- カードの向きに注意して「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。
- カードを入れても認識しない場合は、一旦カードを取り出し、もう一度入れなおしてください。

■カードを取り出すときは

① 本機の電源を切り、カードを軽く押してください。
② カードが少し飛び出しますので、ゆっくりと引き抜いてください。

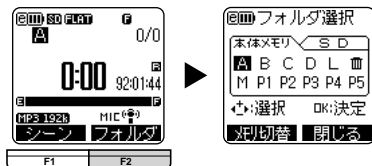
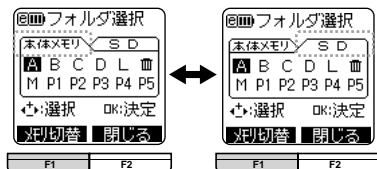
本機で使用可能なカード

本機は、2GB の microSD カード、および 4GB ～ 16GB の microSDHC カードに対応しています。（2010 年 11 月現在）

- カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済みのカードについては、当社サポートホームページでご確認ください。
  http://jp.sanyo.com/icr/support/gaibu.html

内蔵メモリとカードを切り換える

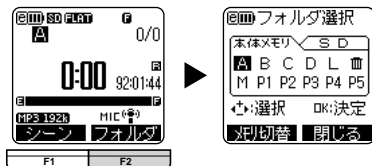
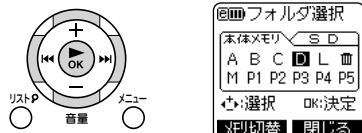
電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 停止中に、F2/ フォルダボタンを押す

2 F1/ メモリ切換ボタンで、［SD］、または［本体メモリ］を選び、▶OKボタンを押す

ヒント

- 内蔵メモリとカードの切り換えは、停止中の基本画面で、F2/ フォルダボタンを 1 秒以上押して切り換えることもできます。

フォルダを切り換える

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 停止中に、F2/ フォルダボタンを押す

2 音量＋ / −、⏮/⏭ボタンで、使用するフォルダを選び、▶OKボタンを押す

- M フォルダを選んだ場合はフォルダ検索画面（☞ 53 ページ）のリスト表示に切り換わります。また、「楽曲リストを更新中です」と表示され、リスト表示に時間がかかる場合があります。
- 選択したフォルダに切り換わり、基本画面に戻ります。

●フォルダの種類

A ～ D	マイク録音用フォルダ
L	ライン録音用フォルダ
🗑	ゴミ箱
M	MUSIC（音楽用）フォルダ
P1 ～ P5	MUSIC（音楽用）フォルダのプレイリストファイル

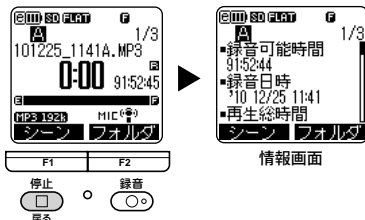
☞**「フォルダとファイルの構成」（23 ページ）**

情報を確認する

本機の状態やファイル情報を確認することができます。

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 停止中に、停止 / 戻るボタンを押す

- 情報画面が表示されます。
- MUSIC（音楽用）フォルダでも同様に操作できます。

情報画面

2 音量＋ / －ボタンで情報画面を上下に動かす

▪録音可能時間
91:52:44
▪録音日時
'10 12/25 11:41
▪再生総時間
2:21
▪ファイル形式
MP3 192kbps
▪現時刻
'10 12/25 14:32:52

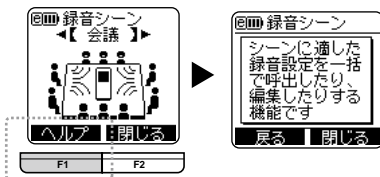
- 情報画面では以下の内容が確認できます。

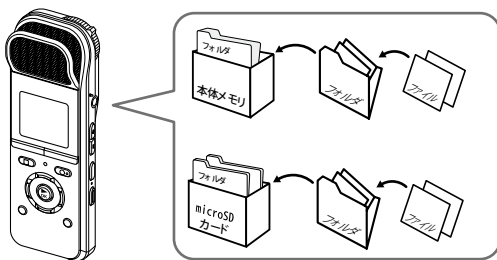
録音可能時間	現在設定中の録音モードで録音可能な残り時間
録音日時	選択中のファイルを録音した日と時刻
再生総時間	選択中のファイルの長さ
ファイル形式	選択中のファイル形式
現時刻	現在の時刻

- 「録音日時」表示は、MUSIC（音楽用）フォルダでは表示されません。
- ファイルがない場合、一部の項目では「- -」表示となります。

3 停止 / 戻るボタンを押して、情報画面を終了する

■簡単ガイドを表示する

操作画面に ヘルプ が表示されたとき、F1/ ヘルプボタンを押すと、現在操作中の機能説明が表示されます。

フォルダとファイルの構成

１回の録音データを「ファイル」、そのファイルを入れておく場所を「フォルダ」と呼びます。
本機では複数のフォルダ（MIC_A、MIC_B など）が用意されており、ファイルはフォルダに収納されて本体の内蔵メモリに保存されます。また、本機では内蔵メモリの他にカードに保存することもできます。

●ファイル

１回の録音操作（録音→停止）をするごとに、１つのファイルが作成されます。
何度録音しても上書きはされず、各ファイルは消えません。

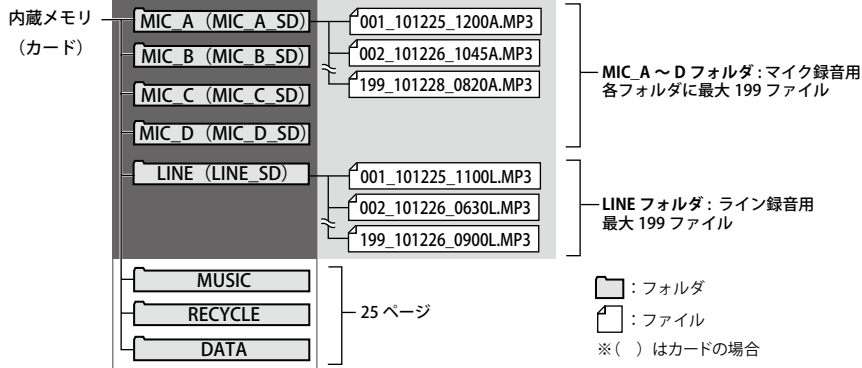
●フォルダ

ファイルを入れておく場所です。MIC_A →会議､MIC_B →英会話のレッスンなど､用途に応じてファイルの収納場所を分けると、あとから必要なファイルを探しやすくなります。

●メモリ

本機では、内蔵メモリのほかに microSDHC/microSD カードを録音用メディアとして使うことができます。メモリ内の使い方（どのフォルダを使うか、各フォルダにいくつファイルを入れるか）は、メモリの最大録音時間、最大ファイル数を超えない限り、ご自由にお使いいただけます。

録音用フォルダについて

MIC A ～ D フォルダ　：本機でマイク録音したファイルを保存します。
LINE フォルダ　：外部機器からライン録音したファイルを保存します。

■録音ファイルの名前のつきかた

本機で録音したファイルは次の規則で自動的に名前がつきます。

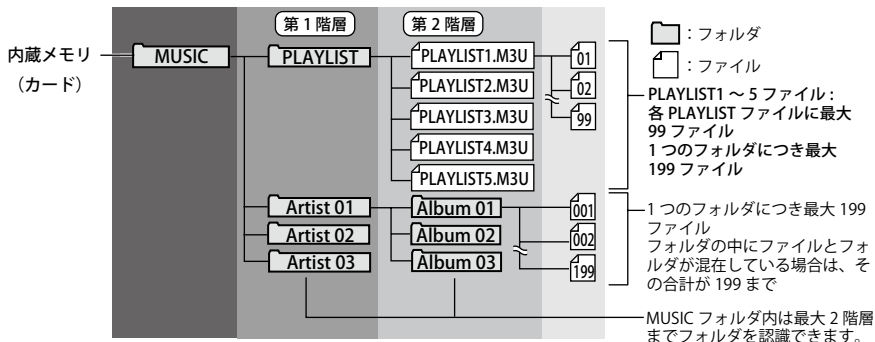
001_101225_1230A.MP3
① ② ③ ④ ⑤

① ファイル番号 *（001、002…199 というように、順番に付けられます）
② 録音した日付（年月日）
③ 録音した時刻（時分）
④ 保存されているフォルダの種類（A ～ D: MIC A ～ D フォルダ、L: LINE フォルダ）
⑤ 拡張子（ファイル形式）（MP3 :MP3 録音、WAV : PCM 録音）

* ファイル番号（001_）は、パソコンでのみ表示されます。本機では表示されません。

・ ファイル名をパソコンで変更すると、MIC A ～ D フォルダや LINE フォルダでは再生できなくなります。上記のファイル名ルールに従った名前に変更するか、MUSIC（M）フォルダに移動して再生してください。

MUSIC（音楽用）フォルダについて

MUSIC フォルダは、パソコンから MP3、WMA ファイルなどを転送して再生するフォルダです。お手持ちの音楽 CD などをパソコンに取り込み、MUSIC フォルダに転送すると音楽プレーヤーとして使用できます。

その他のフォルダについて

■ RECYCLE フォルダ

ゴミ箱です。ゴミ箱機能が「ON」のとき、消去したファイルは RECYCLE（ゴミ箱）フォルダに移動します。

☞ **「ゴミ箱機能」（68 ページ）**

■ DATA フォルダ

本機をパソコンに接続したときだけ確認することができます。ワードやエクセルなどのファイルを入れて、本機をカードリーダー／ライター（リムーバブルディスク）として使用するためのフォルダです。

☞ **「外部ストレージとして使う」（98 ページ）**

上手に録音するコツ

試し録りをしましょう

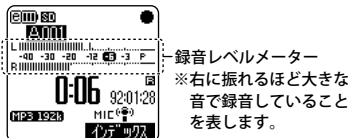
周囲の雑音の有無、話をする人の声の大きさなど、録音環境は人によってさまざまです。
大切な録音を失敗しないためにも、録音の前には必ず試し録りをするようにしましょう。

録音可能時間・電池残量の確認

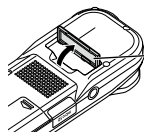
録音可能時間や電池持続時間は、録音モードの設定によって変わります。録音の前には必ず録音可能時間、および電池残量が十分に残っていることを確認するようにしましょう。

録音レベルメーター表示について

録音レベルメーターは録音時の入力レベルを表します。録音時はレベルメーターを確認し、有効な入力レベルであることを確認しましょう。

録音レベルメーター
※右に振れるほど大きな音で録音していることを表します。

ノイズを軽減するには

IC レコーダーでは、録りたい音以外にも様々な音が録音されてしまう場合があります。

- 録音中に本体に触れると、その音が録音されます。録音中はできるだけ本体に触れないようにしてください。
- 机やピアノの上に直接置いて録音すると、振動音が録音される場合があります。柔らかい布などを敷き、スタンドを使用して録音してください。

スタンド
カチッと音がするまで矢印の方向に起こして使用してください。

- 周囲の話し声、エアコンやプロジェクター、パソコンの作動音などを軽減したい場合や、口元録音で息が吹きかかる場合、屋外で風が強い場合は、Low Cut フィルタ（☞ 37 ページ）を「ON」に設定してください。風切り音の軽減には、付属のウインドスクリーン（風防）を使用すると効果的です。

録音スタンバイ画面について

本機の設定によっては、録音ボタンを押したときに「録音スタンバイ画面」が表示されます。
このような場合はもう一度録音ボタンを押すと録音が開始されます。

録音スタンバイ画面

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 録音フォルダを選ぶ

☞ **「メモリ / フォルダを切り換える」（21 ページ）**

2 録音ボタンを押して、録音を開始する

・ 録音 LED が点灯します。

a ：録音中アイコン
b ：フォルダ名、ファイル数
c ：録音レベルメーター
d ：録音経過時間
e ：録音可能時間

・ 録音スタンバイ画面が表示された場合、録音レベルの調整を行ってください。(☞ 32 ページ)

● 録音モニター

録音中にステレオイヤホン端子（🎧）に付属のステレオイヤホンを接続すると、録音中の音を聴くことができます。
録音モニターの音量は、音量＋ / －ボタンで調整してください。

3 停止 / 戻るボタンを押して、録音を終了する

・ 録音 LED が消灯し、基本画面に戻ります。

録音を一時停止するには

録音中に録音ボタン押す

・ 録音 LED と録音経過時間が点滅し、録音一時停止中表示（❚❚）に変わります。

・ 一時停止中にもう一度、録音ボタンを押すと、録音を再開します。
・ 録音一時停止のまま、オートパワーオフ機能（☞ 84 ページ）で設定した時間が経過すると、録音中のファイルを保存した後、電源が切れます。

ヒント

・ **録音シーンを選ぶだけで、シーンに応じたおまかせ録音ができます。（☞ 28 ページ）**
・ 録音する場面や状況に応じて、マイクポジションを変更することをおすすめします。（☞ 31 ページ）

ご注意

・ 録音中は電池を抜いたり、USB 対応 AC アダプター（別売）を抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
・ 記録媒体（メモリ）の特性として、録音や削除を繰り返し行うことで処理能力が落ち、音飛びした状態で録音されることがあります。このような場合には必要なファイルをパソコンなどにバックアップ（☞ 45、92 ページ）してからフォーマット（☞ 67 ページ）してください。
・ 録音 LED 設定が「OFF」の場合、録音 LED は点灯（点滅）しません。（☞ 83 ページ）

シーンセレクト機能を使う

録りたいシーンを選ぶだけで、録音シーンに応じた当社推奨の録音設定を一括で呼び出します。
あらかじめプリセットされている「会議」､「講義」「音楽」の録音シーンから選ぶことができます。

■シーンセレクトの種類

会議	会議など全方向からの音声を録音するのに最適な設定
講義	授業や講演など前方（一定方向）からの音声を録音するのに最適な設定
音楽	楽器演奏や動物の声などを高音質で録音するのに最適な設定
お気に入り 1 ～ 3	お好みの録音設定を登録する（☞ 29 ページ）

- 各シーンの設定内容については 29 ページをご覧ください。
- 各シーンの設定内容は、お好みに応じて変更し、登録することができます。（☞ 29 ページ）
- シーン設定は全ての録音設定を一括で切り換えます。録音設定を個別に切り換えたい場合は、録音設定メニューから設定してください。（☞ 34 ページ)
- 録音シーンを設定した後、設定メニューで個別に録音設定を変更した場合、変更した内容以外は、録音シーンの設定が保持されます。

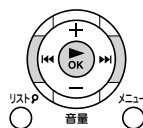
ヒント

- 録音する場面や状況に応じて、マイクポジションを変更することをおすすめします。（☞ 31 ページ）

シーンセレクトを設定する

電源を入れる（☞ 17 ページ）

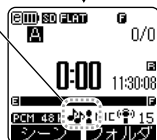
1 停止中に F1/ シーンボタンを押す

2 ⏮ / ⏭ボタンで録音シーンを選び、▶OK ボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで［呼出し］を選び、▶OKボタンを押す

録音シーン表示

:会議

:講義

:音楽

:お気に入り 1 ～ 3

シーンセレクトの設定内容を変更する

録音シーンセレクトの設定内容はお好みに応じて変更し、登録することができます。よく使う設定を登録しておくことにより、次からはすばやく呼び出すことができます。
本機にあらかじめ設定されている各録音シーンの詳細は、以下の通りです。

■シーンセレクトの初期設定内容（お買い上げ時）

録音シーン		会議	講義	音楽	お気に入り 1 ～ 3
設定項目	参照先				
録音モード	35 ページ	MP3: 192kbps	MP3: 192kbps	PCM: 48kHz	MP3: 192kbps
マイク感度	35 ページ	高	高	高	高
ALC 設定	36 ページ	ON	ON	OFF	ON
低域補正マイク	37 ページ	OFF	OFF	ON	OFF
Low Cut フィルタ	37 ページ	ON	ON	OFF	OFF
録音ピークリミッタ	38 ページ	OFF	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音	38 ページ	OFF	OFF	OFF	OFF
VAS 設定	39 ページ	OFF	OFF	OFF	OFF

1 変更する録音シーンを選ぶ

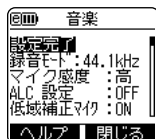
① 基本画面で F1/ シーンボタンを押す
② 変更したいシーンを⏮/⏭で選び、▶OK ボタンを押す

2 音量＋ / －ボタンで［設定変更］を選び、▶OKボタンを押す

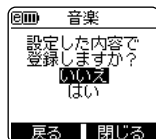
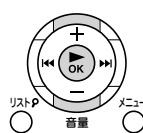
3 音量＋ / －ボタンで変更したい項目を選び、▶OKボタンを押す

4 設定内容を変更する

- 選択した項目によって設定方法が異なります。各設定方法については、上記表の参照ページをご覧ください。
- 手順34を繰り返して、他の設定内容を変更してください。

5 **変更が終了したら、音量＋ / －ボタンで［設定完了］を選び、▶OKボタンを押す**

- 変更した設定が録音シーン設定に登録されます。

ご注意

- 必ず「設定完了」の操作を行ってください。「設定完了」の操作を行わず、設定の途中で停止 / 戻るボタンや F2/ 閉じるボタンを押すと、「設定した内容で登録しますか？」の確認画面が表示される場合があります。音量＋ / －ボタンで［はい］、［いいえ］を選び、▶OKボタンを押してください。

6 **音量＋ / －ボタンで［呼出し］を選び、▶OKボタンを押す**

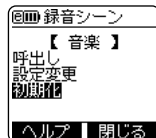
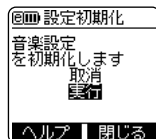
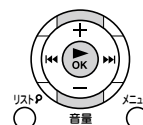
- 手順 5 で登録したシーンセレクト設定は、「呼出し」を行うまで有効になりません。

シーンセレクトの設定内容を初期化する

変更した登録内容を初期化する（お買い上げ時の状態に戻す（☞ 29 ページ））ことができます。

1 **初期化する録音シーンを選ぶ**

① 停止中に F1/ シーンボタンを押す。
② 変更したいシーンを⏮ / ⏭ボタンで選び、▶OKボタンを押す。

2 **音量＋ / －ボタンで［初期化］を選び、▶OKボタンを押す**

3 **音量＋ / －ボタンで［実行］を選び、▶OKボタンを押す**

- 選択した録音シーンの設定内容がお買い上げ時に初期化されます。

4 **F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る**

- メニュー初期化（☞ 86 ページ）を行った場合もシーンの設定内容は初期化されます。

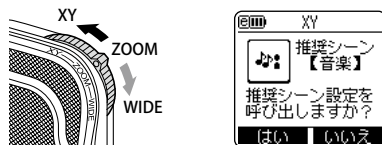
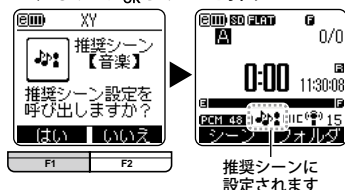
マイクポジションを切り換える

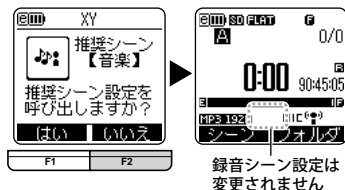
本機では、マイク切り換えスイッチでマイクの指向性を切り換えて、各マイクポジションに推奨されるシーン設定を呼び出すことができます。

- マイクポジションを切り換えると、マイクを向けた方向の音を中心に録音することができます。

マイクの指向性	推奨シーン
WIDE 左右のステレオ感を強調した録音	WIDE 推奨シーン【会議】 推奨シーン設定を呼び出しますか？ はい いいえ
ZOOM 正面感度に優れた録音	ZOOM 推奨シーン【講義】 推奨シーン設定を呼び出しますか？ はい いいえ
XY 正面感度と左右のステレオ感のバランスに優れた（中抜けのないステレオ）録音	XY 推奨シーン【音楽】 推奨シーン設定を呼び出しますか？ はい いいえ

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 基本画面で停止中にマイク切り換えスイッチで指向性を切り換える

2 推奨シーンを設定する場合は、F1/ はいボタン、または ▶OK ボタンを押す

推奨シーン以外の設定をする場合は、F2/ いいえボタン、または停止 / 戻るボタンを押す

- F2/ いいえボタン、または停止 / 戻るボタンを押すと、マイクポジションだけが切り換わり、推奨シーンの設定は呼び出さず、現在の録音設定のまま録音できます。

ヒント

- 推奨シーンの設定内容は、シーンセレクト機能で設定されている内容になります。
- F2/ いいえボタンを押した場合でも、あとからシーンセレクト機能で、推奨シーンや他の録音シーンを設定することができます。
  ☞ 「シーンセレクト機能」（28 ページ）
- 録音開始後にマイクポジションを切り換えると、切り換え時のノイズが入りますので録音開始前に切り換えておくことをおすすめします。

録音レベルを調整する

シーンセレクトで「音楽」(ALC 設定「OFF」)を選んだ場合や、録音設定メニューでマイク ALC 設定を「OFF」にした場合、録音スタンバイ画面が表示され、録音レベルを調整しながら録音することができます。

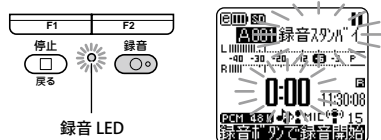
☞ **「シーンセレクト機能を使う」(28 ページ)**
☞ **「マイク ALC 設定」(36 ページ)**

電源を入れる(☞ 17 ページ)

1 録音するフォルダを選ぶ

☞ **「メモリ / フォルダを切り替える」(21 ページ)**

2 録音ボタンを押して、録音スタンバイモードにする

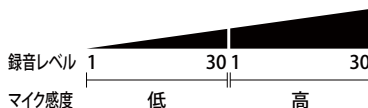
- 録音 LED が点滅します。この状態ではまだ録音は開始されていません。

- マイクに音が入ると、その音の大きさに応じて録音レベルメーターが左右に振れます。右に振れるほど、大きな音が入力されたことを表します。
- 停止 / 戻るボタンを押すと録音スタンバイを解除します。

3 本機を録音する位置に置き、実際に音を鳴らす

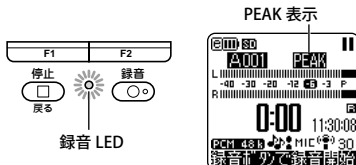
- 入力される音の大きさに応じて、レベルメーターが左右に振れます。

録音レベルメーター
※右に振れるほど大きな音で録音していることを表します。

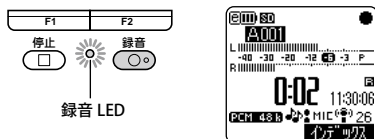
4 ⏮ / ⏭ボタンを押して、録音レベルを調整する

- 録音レベルは、マイク感度「低」、「高」それぞれに 1 ～ 30 で調整できます。
  録音レベル 0 は、無音で録音されます。

■ 適切な録音レベルにするために

- 目安として、録音する音が最も大きくなった場合に「－ 6」付近を指すぐらいに調整してください。

- 「PEAK」が表示され、録音 LED が早く点滅する場合は、録音レベルが高すぎるために音が歪んで録音されます。

  |◀◀ボタンを押して録音レベルを下げてください。
- マイク感度「高」で録音レベルを 1 まで下げても PEAK 表示となる場合は、マイク感度を「低」にして調整してください。
- マイク感度「低」で録音レベルを 30 まであげても十分な録音レベルが得られない場合は、マイク感度を「高」にして調整してください。

5 録音ボタンを押して、録音を開始する

- 録音 LED が点灯します。

6 停止 / 戻るボタンを押して、録音を終了する

- 録音 LED が消灯し、基本画面に戻ります。

ヒント

- 録音中も|◀◀ / ▶▶|ボタンで録音レベルの調整ができますが、操作音が録音されますので、あらかじめスタンバイ状態で調整しておくことをオススメします。
- 音楽シーンで録音する場合や、マイク ALC の設定が「 OFF」で録音する場合は、VAS（音声起動録音）は使用できません。
- マイクポジションを切り換えることで、マイクを向けた方向の音を中心に録音することができます。録音する場面や状況に応じてマイクポジションを変更することをおすすめします。
  (☞ 31 ページ)
- 録音スタンバイ画面でメニューボタンを押すと、以下の設定を変更することができます。
  - マイク感度 (☞ 35 ページ)
  - 低域補正マイク (☞ 37 ページ)
  - Low Cut フィルタ (☞ 37 ページ)
  - 録音 EQ (☞ 40 ページ)

マイク録音に関する機能と設定

録音する場面や状況に応じて各種のマイク録音設定を個別に行うことで、よりクリアでノイズの少ない録音ができます。

マイク録音設定画面の出しかた

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 停止中にメニューボタンを押す

2 音量＋ / －ボタンで [マイク録音設定] を選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで変更する機能を選び、▶OKボタンを押す

・ F1/ タブ切替ボタンを押すと他の設定画面に切り替わります。

・ 設定内容、変更方法については項目ごとに異なります。下記ページをご覧ください。

機能	参照先
マイク録音モード	35 ページ
マイク感度	35 ページ
マイク ALC 設定	36 ページ
低域補正マイク	37 ページ
Low Cut フィルタ	37 ページ
録音ピークリミッター	38 ページ
セルフタイマー録音	38 ページ
VAS 設定（音声起動録音）	39 ページ

ヒント

・ 設定中に ヘルプ が表示されている場合は、F1/ ヘルプボタンを押すと、簡単ガイドが表示されます。（☞ 22 ページ）
・ 操作中に停止 / 戻るボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。
・ 録音シーンセレクト機能を使うと、シーンに応じた当社推奨のマイク録音設定を一括で設定することができます。（☞ 28 ページ）

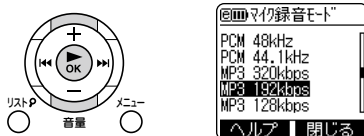
ご注意

・ マイク録音設定は、マイク録音時のみ有効です。
☞「録音の基本操作（マイク録音）」（27 ページ）

音質を変更する(マイク録音モード)

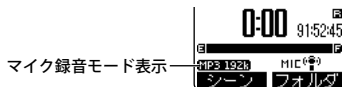
音質を重視して録音したり、録音時間を重視して録音できます。

1 マイク録音設定画面で、[マイク録音モード]を選ぶ(☞ 34 ページ)

2 音量+ / −ボタンで、設定したい録音モード選び、▶OKボタンを押す

PCM (非圧縮)	48kHz	音楽 (高音質)
	44.1kHz	↑
MP3 (圧縮)	320kbps	
	192kbps	会議・講義 (標準)
	128kbps	
	64kbps	↓
	32kbps	口述 (長時間)

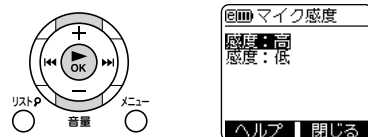
- MP3 32kbps はモノラルです。
- 音質を高めるとデータサイズは大きくなり録音できる時間はそれだけ短くなります。目的に合った録音モードをお選びください。

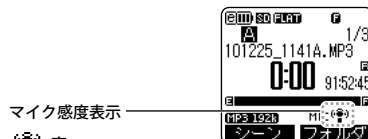
☞ **「録音モードと録音可能時間」(104ページ)**

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

マイク感度を変更する(マイク感度)

用途に合わせて、内蔵マイクの感度を選ぶことができます。

1 マイク録音設定画面で、[マイク感度]を選ぶ(☞ 34 ページ)

2 音量+ / −ボタンで[高]または[低]を選び、▶OKボタンを押す

高:会議・講義などの録音
低:口もとや大音量などの録音

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

- マイク感度は、録音スタンバイモード時(☞ 32 ページ)にも設定できます。

録音レベル調整の設定を変更する（マイク ALC 設定）

マイク ALC（オートレベルコントロール）を切り換えることで、録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するかを設定できます。
マイク ALC を OFF にすると、録音ボタンを押した時に録音スタンバイ画面が表示され、録音レベルの調整ができるようになります。（☞ 32 ページ）

1 **マイク録音設定画面で、［マイク ALC 設定］を選ぶ（☞ 34 ページ）**

2 **音量＋ / －ボタンで［ON］または［OFF］を選び、▶OKボタンを押す**

マイク ALC	特長	使用場面
ON（自動）	大きい音は少し小さく、小さい音は少し大きく録音します。音割れや歪みを抑え、聞き取りに適した音声録音を行います。	会議、講義、商談、講演、インタビューなど
OFF（手動）	音の大小をそのまま録音し、原音に忠実な音声録音を行います。	楽器演奏など

3 **F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る**

録音レベル表示なし：ALC ON
録音レベル表示あり：ALC OFF

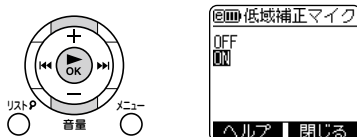
ヒント

録音スタンバイモード時にメニューボタンを押すと、下記機能の設定を変更することができます。
- マイク感度（☞ 35 ページ）
- 低域補正マイク（☞ 37 ページ）
- Low Cut フィルタ（☞ 37 ページ）
- 録音 EQ（☞ 40 ページ）

低い周波数の音を強調する（低域補正マイク）

低域補正マイクを「ON」に設定すると、低い周波数の音を強調して録音できます。

1 マイク録音設定画面で［低域補正マイク］を選ぶ（34 ページ）

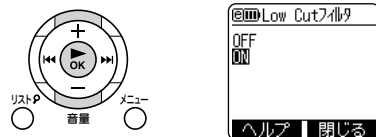
2 音量＋ / －ボタンで［ON］または［OFF］を選び、ボタンを押す

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

・ 低域補正マイクは、録音スタンバイモード時（☞ 32 ページ）にも設定できます。

低い周波数の音を減衰する（Low Cut フィルタ）

Low Cut フィルタを「ON」に設定すると、録音時に低い周波数の音を減衰します。空調ノイズやプロジェクターのファンノイズを低減したい場合に効果的です。

1 マイク録音設定画面で［Low Cut フィルタ］を選ぶ（☞ 34 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで［ON］または［OFF］を選び、▶OKボタンを押す

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

・ Low Cut フィルタは、録音スタンバイモード時（☞ 32 ページ）にも設定できます。

突然の大きな音の歪みを抑える（録音ピークリミッター）

突然の大きな音を自動で調整し、音の歪みを抑えて録音します。

- シーンセレクト設定が「音楽」（ALC 設定「OFF」）、またはマイク ALC 設定が「OFF」の場合のみ有効です。

1 マイク録音設定画面で［録音ピークリミッター］を選ぶ（☞ 34 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで［ON］または［OFF］を選び、▶OKボタンを押す

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

録音開始までの時間を設定する（セルフタイマー録音）

録音ボタンを押してから録音が開始されるまでの時間が設定できます。楽器の練習など、録音開始までの時間を必要とする場合に便利です。

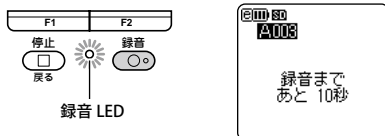
1 マイク録音設定画面で［セルフタイマー録音］を選ぶ（☞ 34 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、セルフタイマーの設定時間を選び、▶OKボタンを押す

タイマー	機能
OFF	セルフタイマー設定オフ
5 秒	録音ボタンを押した 5 秒後に録音開始
10 秒	録音ボタンを押した 10 秒後に録音開始
30 秒	録音ボタンを押した 30 秒後に録音開始

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

4 **録音ボタンを押す**

- セルフタイマー待機画面が表示され、設定した時間のカウントダウンが始まり、録音LEDが点滅します。

- シーンセレクト設定が「音楽」(ALC 設定「OFF」)、またはマイク ALC 設定が「OFF」の場合は、録音スタンバイ画面が表示されるため、もう一度録音ボタンを押すと、カウントダウンが始まります。

手順2で設定した時間が経過すると、録音を開始します。

- 一度セルフタイマー録音を行うと、設定は保持されます。
  セルフタイマーを解除するには、「OFF」を選択してください。
- カウントダウン中に停止 / 戻るボタンを押すと、カウントダウンを停止します。停止した場合、もう一度録音ボタンを押すとセルフタイマー録音が始まります。

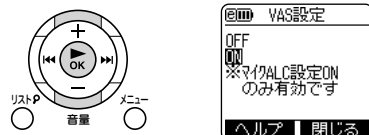
音声を感知して録音する(VAS 設定:音声起動録音)

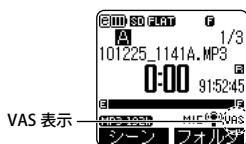
VAS 設定を ON にして録音すると、設定した音声感知レベル(VAS 値)より大きな音をマイクが感知したときに自動的に録音を開始し、音が小さくてマイクが感知できないときは、自動的に録音を一時停止(録音待機)する機能です。
会議など、長い沈黙をカットしながら録音することでメモリ容量を節約できます。

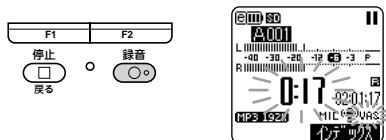
- シーンセレクト設定が「音楽」(ALC 設定「OFF」)、またはマイク ALC 設定が「OFF」に設定されている場合、VAS 録音はできません。
- VAS 設定が「ON」で録音中に、音が小さくて感知できず一時停止(録音待機)になっても、オートパワーオフ機能は働きません。ただし、VAS 録音中に録音ボタンを押す(一時停止)と、通常の録音一時停止状態になります。(オートパワーオフを ON に設定しているときは、設定された時間の経過後に自動的に電源が切れます。)
- 小さな音の場合は録音しないことがありますので、大切な録音をするときは、この機能を OFF に設定してください。
- Low Cut フィルタを OFF に設定してください。

1 **マイク録音設定画面で[VAS 設定]を選ぶ**(☞ 34 ページ)

2 **音量+ / −ボタンで[ON]または[OFF]を選び、▶OKボタンを押す**

録音

マイク録音に関する機能と設定

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

4 録音ボタンを押す

・ 音声を感知したときに自動で録音を開始し、音声を感知できない場合は、一時停止（録音待機）になり、経過時間と VAS 表示が点滅します。

■音声感知レベル（VAS 値）の調整

VAS 設定 ON で録音中にボタンを押すと、録音感知レベルを調整できます。（VAS 値表示）

・ 1 ～ 5 の 5 段階で調整できます。（お買い上げ時は 3 に設定されています。）
・ 数値が高くなるほど小さな音を感知して録音を開始しますが、雑音の多い場所では、録音が一時停止（録音待機）しない場合があります。

録音イコライザーを設定する（録音 EQ）

録音イコライザー（録音 EQ）を使用すると、低音域を強調したり、中音域を強調するなど、お好みの音質で録音できます。

・ 録音 EQ はマイク録音（MIC_A ～ MIC_D フォルダへの録音）の場合に設定できます。
・ 録音 EQ は録音スタンバイモード（☞ 32 ページ）時のみ設定できます。

■録音 EQ の種類

録音 EQ 設定	特徴
FLAT	音域の強調なし
RECOMMEND	指向性ステレオマイクでの推奨設定
SUPER BASS	低音域をより強調
BASS	低音域をやや強調
MIDDLE	中音域を強調
BASS ＆ TREBLE	低音域と高音域をやや強調
TREBLE	高音域をやや強調
SUPER TREBLE	高音域をより強調
USER	5 バンドの録音レベルを自由に調整し、お好みの音質に設定する（☞ 42 ページ）

・ お買い上げ時の「USER」の設定は、「FLAT」と同じです。

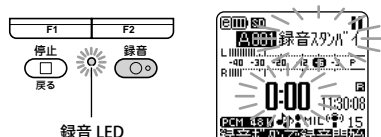
電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 シーンセレクト機能を「音楽」（ALC 設定「OFF」）に設定する (☞ 28 ページ、31 ページ)、またはマイク ALC 設定を「OFF」に設定する（☞ 36 ページ）

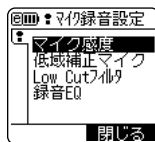
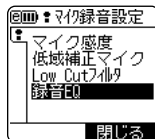
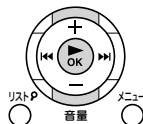
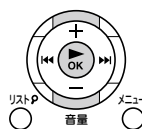
2 録音フォルダ A、B、C、D を選ぶ

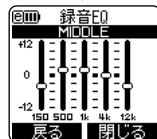
☞「メモリ / フォルダを切り換える」（21 ページ）

3 録音ボタンを押して、「録音スタンバイ」にする

- 録音 LED が点滅します。この状態ではまだ録音は開始されていません。

録音 LED

4 メニューボタンを押す

- 録音スタンバイモードのマイク録音設定画面が表示されます。

5 音量＋ / －ボタンで［録音 EQ］を選び、OKボタンを押す

6 音量＋ / －ボタンで、録音したい音質のイコライザーを選び、OKボタンを押す

■イコライザーの詳細を確認する場合

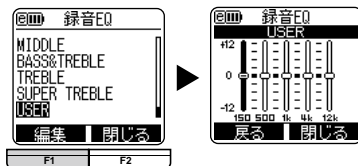
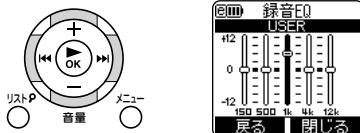
音量＋ / －ボタンで、録音したい音質を選び、F1/ 確認ボタンを押す

7 F2/ 閉じるボタンを押す

- 再び、録音 LED が点滅し、録音スタンバイ画面に戻ります。
- 必要であれば、録音レベルを調整します。（☞ 32 ページ）

8 録音ボタンを押し、録音を開始する

お好み設定（USER）

録音イコライザー（録音 EQ）の 5 バンドの各レベルを自由に設定することができます。

1 録音 EQ 設定の手順 6 で［USER］を選び、F1/ 編集ボタンを押す

2 ⏮/⏭ボタンで、変更したい周波数帯を選び、音量＋ / －ボタンでレベルを調整する

- － 12dB ～ 12dB（25 段階）まで、1dB ごとに調整できます。dB の数字が大きいほど強調されます。
- 手順 2 を繰り返して、他の周波数帯を調整してください。
- 設定を中止する場合は、停止 / 戻るボタン、または F1/ 戻るボタンを押してください。

3 設定が完了したら、▶OKボタンを押す

4 F2/ 閉じるボタンを押す

- 再び、録音 LED が点滅し、録音スタンバイ画面に戻ります。
- 必要であれば、録音レベルを調整します。（☞ 32 ページ）

5 録音ボタンを押し、録音を開始する

外部マイクを使う

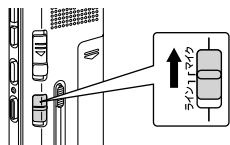
外部マイクを接続して録音することができます。市販の外部マイクを使用する場合は、下記仕様のマイクをご使用ください。

- エレクトレットコンデンサー / プラグ イン パワー方式
- インピーダンス : 2k Ω
- プラグ : ステレオミニ（φ 3.5）

ご注意

- 推奨品以外の外部マイクを使用した場合、正常に録音できない場合があります。
- 外部マイク接続時、内蔵マイクは無効になります。

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 本機後面の外部入力切り換えスイッチを「マイク」に設定する

2 外部入力端子に別売のステレオマイクを接続する

3 録音を開始する（☞ 27 ページ）

電話の会話を録音する

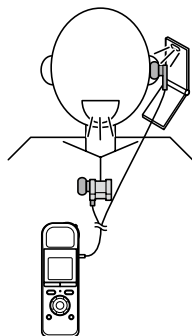
別売のステレオ 3WAY マイク「HM-250」を使用すると、電話機や携帯電話での会話を録音することができます。

1 本機後面の外部入力切り換えスイッチを「マイク」に設定する

2 外部入力端子に別売の「ステレオ 3WAY マイク」のプラグを接続する

イヤホンは、受話器を当てる方の耳に入れ、ピンマイクを胸元などにはさんでください。

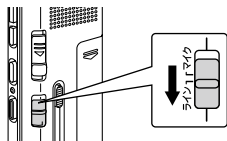
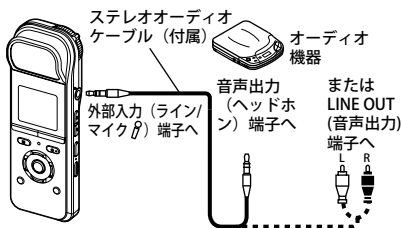
3 電話をしながら、録音する

☞ **「録音の基本操作」（27 ページ）**

他の機器と接続して録音する（ライン録音）

他の機器から本機に録音する

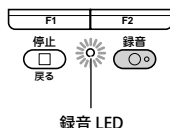
ステレオコンポやラジカセ、CD プレーヤーなどから、音楽などを録音（ダビング）することができます。

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 本機後面の外部入力切り換えスイッチを「ライン」に設定する

2 本機の外部入力端子と他の機器の音声出力端子（ヘッドホン端子など）を、付属のステレオオーディオケーブルで接続する

- 接続する機器によって出力端子の形状が異なる場合は、市販の変換アダプターや変換ケーブルなどをご用意ください。
- 外部入力切り換えスイッチを「ライン」にしてケーブルを接続すると、ライン入力設定のアイコンが表示されます。

3 接続する機器に合わせて、「ライン入力設定」を設定する（☞ 47 ページ）

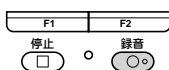
4 本機の録音ボタンを押す

- 録音 LED が点滅します。この状態ではまだ録音は開始されていません。

5 他の機器を再生し、本機のレベルメーターを確認しながら他の機器の音量を調整する

- 入力される音の大きさに応じて、レベルメーターが左右に振れます。

- 液晶画面に「PEAK」が表示され、録音LED が早く点滅する場合は、再生機器側の音が大きすぎるため音が歪んで録音されます。再生機器側の音量を下げてください。
- 音量の調整は、録音したい音が最も大きくなった場合でも、「PEAK」が表示されない範囲でレベルメーターができるだけ右に振れるよう調整 * してください。

* 目安として、－ 6dB 付近を推奨します。

6 音量の調整が完了したら、もう一度、本機の録音ボタンを押して録音を開始する

7 録音（ダビング）を終了するときは、本機と他の機器を停止する

- 録音ファイルは、LINE（L）フォルダに保存されます。

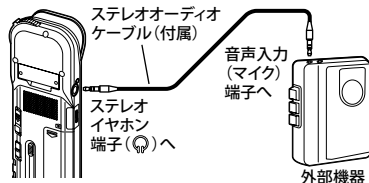
ヒント

- 2 秒以上の無音を感知したときに自動で分割を行う「自動無音分割」を設定すると、CD 録音のときなどに便利です。（☞ 48 ページ）

本機から他の機器に録音する

本機で録音した内容を他の機器に録音（ダビング）することができます。

- 事前に試し録りをし、本機の音量を調整してください。

1 本機のステレオイヤホン端子（🎧）と他の機器の音声入力端子を、付属のオーディオケーブルで接続する

- 録音する外部機器側の入力端子に合わせて、以下ケーブルを推奨します。

マイク入力	ステレオミニ（φ 3.5）：抵抗入り（市販品）
ライン入力	ステレオミニ（φ 3.5）：抵抗なし（付属品）

2 本機の再生ボタンを押すと同時に他の機器の録音を開始する

3 録音（ダビング）を終了するときは、本機と他の機器を停止する

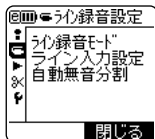
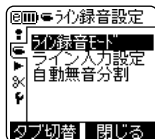
ライン録音に関する機能と設定

ライン録音時の音質や感度などを設定することができます。

ライン録音設定画面の出しかた

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 停止中にメニューボタンを押す

2 音量＋ / －ボタンで、［ライン録音設定］を選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、変更する機能を選び、▶OKボタンを押す

- F1/ タブ切替ボタンを押すと他の設定画面に切り替わります。

- 設定内容、変更方法については項目ごとに異なります。下記ページをご覧ください。

機能	参照先
ライン録音モード	46 ページ
ライン入力設定	47 ページ
自動無音分割	48 ページ

ヒント

- 設定中に ヘルプ が表示されている場合は、F1/ ヘルプボタンを押すと、簡単ガイドが表示されます。（☞ 22 ページ）
- 操作中に停止 / 戻るボタンを押すと、１つ前の画面に戻ります。
- ライン録音設定は、ライン録音時のみ有効です。
  ☞**「他の機器と接続して録音する（ライン録音）」（44 ページ）**

音質を変更する（ライン録音モード）

音質を重視して録音したり、録音時間を重視して録音できます。

1 ライン録音設定画面で［ライン録音モード］を選ぶ（☞このページ左）

2 音量＋ / －ボタンで、設定したい録音モード選び、▶OKボタンを押す

録音

ライン録音に関する機能と設定

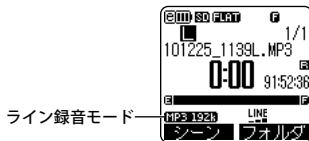
PCM（非圧縮）	48kHz	高音質
	44.1kHz	↑
MP3（圧縮）	320kbps	
	192kbps	標準
	128kbps	↓
	64kbps	
	32kbps	長時間

- MP3 32kbps はモノラルです。
- 音質を高めるとデータサイズは大きくなり録音できる時間はそれだけ短くなります。目的に合った録音モードをお選びください。

☞「録音モードと録音可能時間」（104ページ）

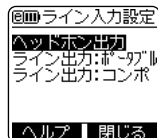
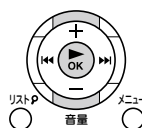
3 **F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る**

- 外部切り換えスイッチを [ライン] にしてケーブルを接続すると、ライン録音モードが表示されます。

ライン録音モード

接続する機器の出力端子を選ぶ（ライン入力設定）

録音（ダビング）時に接続する機器の出力端子を設定します。

1 **ライン録音設定画面で［ライン入力設定］を選ぶ（☞ 46 ページ）**

2 **音量＋ / －ボタンで、接続する機器の出力端子を選び、▶OKボタンを押す**

出力端子	接続先
ヘッドホン出力	ヘッドホン出力端子と接続する場合
ライン出力 : ポータブル	ポータブル機器のライン出力端子と接続する場合
ライン出力 : コンポ	コンポ、AV アンプなどのライン出力端子と接続する場合

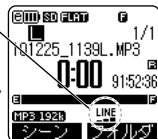
3 **F2/ 閉じるボタンを押して基本画面に戻る**

- 外部切り換えスイッチを「ライン」にしてケーブルを接続すると、ライン入力設定が表示されます。

ライン入力設定表示

LINE : ヘッドホン出力

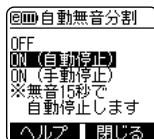
LINE : ライン出力 : ポータブル

LINE : ライン出力 : コンポ

録音　ライン録音に関する機能と設定

自動でファイルを分割させる（自動無音分割）

2 秒以上の無音部分を感知して、自動的にファイルを分割して録音します。
CD プレーヤーやラジカセなどから音楽をダビングするときなどに便利です（☞ 44 ページ）。

1 ライン録音設定画面で［自動無音分割］を選ぶ（☞ 46 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで［ON（自動停止 / 手動停止）］または［OFF］を選び、▶OK ボタンを押す

設定	機能
OFF	自動無音分割オフ
ON（自動停止）	2 秒の無音を感知したときに自動で分割します。無音状態が 2 秒以上続くと一時停止となり、音声を感知すると録音を再開します。無音状態が 15 秒続くと自動で録音を終了します。
ON（手動停止）	2 秒の無音を感知したときに自動で分割します。無音状態が 2 秒以上続くと一時停止となり、音声を感知すると録音を再開します。無音状態が 15 秒続いても録音を終了しません。停止 / 戻るボタンを押すと録音を終了します。

- 自動停止は CD からライン録音する場合に効果的です。
- 曲の先頭の無音時間が短い場合（すぐに開始する曲など）は、曲の先頭が切れる場合があります。この場合は自動無音分割を OFF に設定してください。
- 手動停止は、カセットテープからライン録音するとき、A 面→ B 面の切換時に 15 秒以上の無音がある場合にも一時停止のまま待機するので、効果的に使うことができます。
- ライブ盤 CD のようにトラック間に 2 秒以上の無音がない場合や、ノイズ・駆動音の激しいカセットテープからの録音では、無音を検知できないため自動無音分割機能が働かない場合があります。
- タイマー機能を使ってのライン録音では自動無音分割はできません。

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

- 外部切り換えスイッチを [ライン] にしてケーブルを接続すると、自動無音分割のアイコンが表示されます。

自動無音分割表示

ヒント

- ヘッドホン出力で自動無音分割できない場合は、ライン入力設定をライン出力：ポータブル、ライン出力：コンポ　に設定して録音してみてください。ただし、録音元（デバイス）との兼ね合いにより自動無音分割ができない場合があります。

再生の基本操作

本機で録音したファイルや、パソコンから転送したMP3、WMAファイルを再生することができます。

電源を入れる（☞ 17ページ）

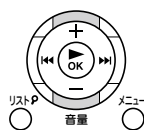
1 再生するファイルが保存されているフォルダを選ぶ

☞ **「メモリ / フォルダを切り替える」（21ページ）**

2 ⏮ / ⏭ボタンで再生するファイルを選ぶ

3 ▶OKボタンを押して、再生を開始する

a ：ファイル名
b ：再生経過時間
c ：再生位置バー
d ：ファイル番号 / フォルダ内のファイル数
e ：ファイル再生総時間

4 音量＋ / −ボタンで聴きやすい音量（0〜20）に調整する

- 突然の大音量で耳を傷めないよう、音量を16以上に設定して電源を切った場合、次回電源を入れたときは、自動的に音量が16に調整されます。

■再生を終了するとき

停止 / 戻るボタンを押す

■ステレオイヤホン（付属）を使用する

高音質な音楽を「サウンドEQ」（☞ 60ページ）とあわせてお楽しみいただけます。
また、周囲に音を出したくないときやスピーカーからの音声が聞き取りにくいときに使用してください。

- 「サウンドEQ」は、ステレオイヤホン接続時のみ有効です。
- ステレオイヤホン端子（🎧）の抜き差しは、停止状態で行ってください。

ヒント

ファイル検索機能（☞ 53ページ）を使えば、さまざまな方法でファイルを探すことが出来ます。

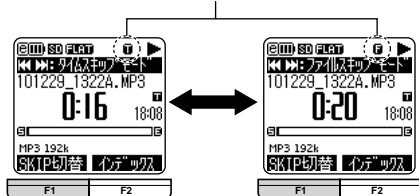
■早送り、早戻しをするには

早送り：再生中に、▶▶|ボタンを 1 秒以上押す
早戻し：再生中に、|◀◀ボタンを 1 秒以上押す

- 早送り / 早戻し開始後は、指を離しても動作は継続します。通常の再生に戻すには▶OKボタンを押してください。

■スキップモード切替について

再生中に F1/SKIP 切替ボタンを押すと、再生中に|◀◀ / ▶▶|ボタンを押したときのスキップモードを「ファイルスキップモード」または「タイムスキップモード」に切り替えることができます。

現在のスキップモード

F：ファイルスキップモード
T：タイムスキップモード

ファイルスキップモード：
　再生中に|◀◀ / ▶▶|ボタンを押すと、ファイルスキップとしてはたらきます。

タイムスキップモード：
　再生中に|◀◀ / ▶▶|ボタンを押すと、タイムスキップとしてはたらきます。

- タイムスキップモード設定中に再生を停止すると、タイムスキップモードは解除され、自動的にファイルスキップモードに戻ります。

■ファイルスキップするには

① 再生中に F1/SKIP 切替ボタンを押して、［ファイルスキップモード］にする
② 再生中、または停止中に▶▶|ボタンを一回押す：
押すごとに次のファイルにスキップします。
再生中、または停止中に|◀◀ボタンを 1 回押す：
押すごとにそのファイルの最初に戻ります。

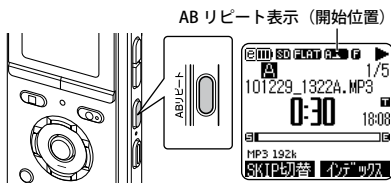
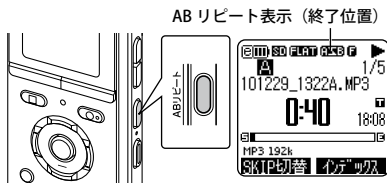
■タイムスキップするには

① 再生中に F1/SKIP 切替ボタンを押して、［タイムスキップモード］にする
② 再生中に▶▶|ボタンを一回押す：
押すごとに 5 秒先にスキップします。
再生中に|◀◀ボタンを 1 回押す：
押すごとに 5 秒前に戻ります。

- タイムスキップの間隔は変更することができます。
☞ **「タイムスキップ」（59 ページ）**
- タイムスキップの間隔より近い位置にファイルの頭出し位置やインデックスマークがある場合は、その位置にスキップします。

2 点間をリピート再生する（AB リピート）

再生中のファイルのファイルの一部分（A 点から B 点）を指定し、繰り返し再生することができます。

1 再生中に、リピート再生の開始位置（A 点）で、AB リピートボタンを押す

2 リピート再生の終了位置（B 点）で、もう一度 AB リピートボタンを押す

- AB リピート再生を解除するまで繰り返し再生します。

■ AB リピート解除のしかた

- もう一度 AB リピートボタンを押す
- 停止 / 戻るボタンを押す
- ⏮ / ⏭ボタンを押す

■ AB リピート再生中に操作可能な機能

- 再生スピードの変更
- センテンス再生
- インデックスを付ける（録音ファイルのみ）

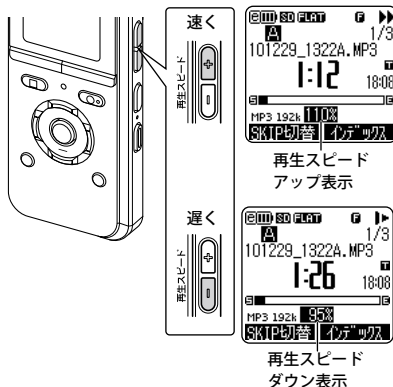
ご注意

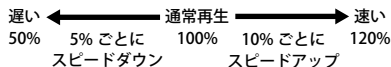
- A 点と B 点の間隔が短すぎる場合、AB リピートの設定ができません。
- A 点を設定後、B 点を設定しなかった場合、そのファイルの末尾が B 点になります。
- ファイルをまたいでの AB リピートはできません。

再生スピードを調整する

再生スピードを調節して聴くことができます。語学学習や楽器演奏での聞き取りにくい箇所を遅くしたり、長時間の録音内容をすばやく確認するときに便利に使えます。
デジタル変換処理により、音程を変えずに再生します。

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 再生スピード＋ / －ボタンを押して、速く / 遅く再生する

● MP3 ファイルの場合

● WMA ファイルの場合

ヒント

- ファイルを選択している状態で、再生スピード＋ / －ボタンを押して、あらかじめ再生スピードを調整しておくこともできます。

ご注意

- **以下の場合は、再生スピードの調節はできません。**
  - PCM 録音ファイル
  - タイマー再生時
  - フォルダ頭出しで再生中

ファイル検索機能を使う

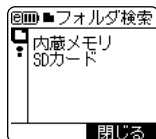
ファイル検索機能を使って、さまざまな方法でファイルを探すことができます。ファイル検索中はフォルダやファイルをリスト表示しますので、目的のファイルをすばやく簡単に選ぶことができます。

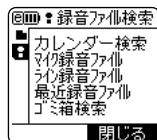
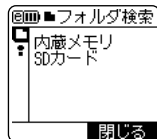
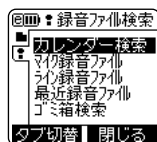
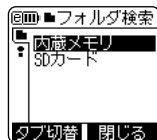
■ファイル検索の種類

フォルダ検索	
内蔵メモリ SD カード （☞ 54 ページ）	メモリやカードごとに、フォルダ構成に沿ってファイルを探します。
録音ファイル検索	
カレンダー検索 （☞ 54 ページ）	録音したファイルを日付で絞り込んでリスト表示します。
マイク録音ファイル （☞ 55 ページ）	マイク録音したファイルのみリスト表示します。
ライン録音ファイル （☞ 55 ページ）	ライン録音したファイルのみリスト表示します。
最近録音ファイル （☞ 55 ページ）	録音したファイルを新しい順にリスト表示します。
ゴミ箱検索 （☞ 56 ページ）	ゴミ箱フォルダ内のファイルのみリスト表示します。

検索方法を選ぶ

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 停止中にリストボタンを押す

「SDカード」はカード装着時のみ表示されます。

2 音量＋ / －ボタンで、［フォルダ検索］、または［録音ファイル検索］を選び、OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで検索方法を選び、OKボタンを押す

- 選択した検索方法によって設定方法が異なります。左上「ファイル検索の種類」の参照ページをご覧ください。
- 手順1でリストボタンを 1 秒以上押すと、基本画面で選択していたファイルをリスト表示します。

内蔵メモリ（SD カード）検索

内蔵メモリまたはカード内のフォルダやファイルをリスト表示します。

1 「検索方法を選ぶ」（☞ 53 ページ）で、［内蔵メモリ］または［SD カード］を選ぶ

2 音量＋ / －ボタンで、再生したいファイルが保存されているフォルダを選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、再生するファイルを選び、▶OKボタンを押す

☞「フォルダとファイルの構成」（23 ページ）

カレンダー検索

録音したファイルを日付で絞り込んでリスト表示します。

1 「検索方法を選ぶ」（☞ 53 ページ）で、［カレンダー検索］を選ぶ

2 音量＋ / －、⏮ / ⏭ボタンで、録音した日を選び、▶OKボタンを押す

□ : 録音したファイルがある日

■ : 選択中の日（反転表示されます）

- 録音したファイルがある日付にのみカーソルが移動します。

3 音量＋ / －ボタンで、再生するファイルを選び、▶OKボタンを押す

選択した日付

マイク録音ファイル検索

内蔵メモリとカードに録音された全てのマイク録音ファイルを、日付の新しい順にリスト表示します。

1 「検索方法を選ぶ」（☞ 53 ページ）で、［マイク録音ファイル］を選ぶ

2 音量＋ / －ボタンで、再生するファイルを選び、▶OKボタンを押す

ライン録音ファイル検索

内蔵メモリとカードに録音された全てのライン録音ファイルを、日付の新しい順にリスト表示します。

1 「検索方法を選ぶ」（☞ 53 ページ）で、［ライン録音ファイル］を選ぶ

2 音量＋ / －ボタンで、再生するファイルを選び、▶OKボタンを押す

最近録音ファイル検索

最も新しい録音ファイルから 20 件のみリスト表示します。

1 「検索方法を選ぶ」（☞ 53 ページ）で、［最近録音ファイル］を選ぶ

2 音量＋ / －ボタンで、再生するファイルを選び、▶OKボタンを押す

ゴミ箱検索

ファイル消去を行なうと、ファイルは一旦ゴミ箱へ移動します。
それらのファイルを最近消去した順、または元のフォルダごとにリスト表示します。

1 「検索方法を選ぶ」（☞ 53 ページ）で、［ゴミ箱検索］を選ぶ

2 音量＋ / －ボタンで、検索方法を選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、再生するファイルを選び、▶OKボタンを押す

ファイル検索に関するご注意

- ファイル検索機能は、録音用フォルダ内のファイルを、録音時に付けられたファイル名（☞ 24 ページ）に沿って検索しています。そのため、以下のような場合には正常に検索できない場合があります。
  - カレンダー設定が正しく設定されていない状態で録音したファイル
  - パソコンでファイルの名前を変更した場合
  - パソコンで MUSIC（音楽用）フォルダにファイルを移動した場合

■リスト画面に表示されるアイコンについて

♪：ファイル

▤：プレイリストファイル

▢：フォルダ

上記の画面はアイコン表示例です。
実際には PLAYLIST フォルダの下には音楽ファイルやフォルダは表示されません。

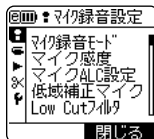
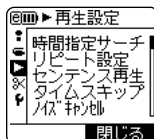
選択したフォルダにファイルがない場合

再生に関する機能と設定

再生するファイルや用途に合わせて、リピート設定や音質などさまざまな設定を行うことができます。

再生設定画面の出しかた

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 停止中にメニューボタンを押す

2 音量＋ / －ボタンで、［▶ 再生設定］を選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、設定する項目を選び、▶OKボタンを押す

- 設定内容、変更方法については各項目で異なります。下記ページを参照してください。

機能	参照先
時間指定サーチ	58 ページ
リピート設定	58 ページ
センテンス再生	59 ページ
タイムスキップ	59 ページ
ノイズキャンセル	60 ページ
サウンド EQ	60 ページ

ヒント

- 設定中に ヘルプ が表示されている場合は、F1/ ヘルプボタンを押すと、簡単ガイドが表示されます。（☞ 22 ページ）
- 操作中に停止 / 戻るボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- 各機能は、再生しながら設定できます。
ただし、フォルダ頭出しで再生している場合は設定できません。

聴きたい位置から再生する（時間指定サーチ）

現在選択しているファイルの再生位置を時間指定し、指定した位置から再生します。

1 **再生設定画面で、［時間指定サーチ］を選ぶ**（☞ 57 ページ）

2 **［現時間］を再生開始時間に変更する**

① ⏮ / ⏭ボタンで、時、分、秒に移動する

② 音量＋ / －ボタンで、再生開始時間に変更する

3 **▶OKボタンを押す**

・ 指定した時間をサーチし、再生を開始します。

繰り返し再生する（リピート設定）

用途に合わせて、いろいろなリピート再生を選択できます。

1 **再生設定画面で、［リピート設定］を選ぶ**（☞ 57 ページ）

2 **音量＋ / －ボタンで、リピート再生の種類を選び、▶OKボタンを押す**

設定項目	機能
OFF	リピート再生オフ
1 曲	1 ファイル繰り返し再生
フォルダ	選択したフォルダ内のファイルを順番に繰り返し再生
フォルダ内ランダム	選択したフォルダ内のファイルを順不同で繰り返し再生
全曲 *	MUSIC フォルダ内の全てのファイルを順番に繰り返し再生 MIC フォルダ（A ～ D）、LINE フォルダ（L）は、「フォルダ」リピート同様
全曲ランダム *	MUSIC フォルダ内の全てのファイルを順不同で繰り返し再生 MIC フォルダ（A ～ D）、LINE フォルダ（L）は、「フォルダ内ランダム」リピート同様

* 認識する曲数は最大 3000 曲です。

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

リピートモード設定表示

数秒繰り返し再生する（センテンス再生）

再生中に数秒だけ戻って再生できる機能です。語学学習や聞き逃した場合に便利です。

■センテンス再生をするには

再生中に▶OKボタンを押す

- 押すごとに、3 秒（お買い上げ時）だけ戻って再生します。

■センテンス再生の間隔を変更する

センテンスの間隔を 1 〜 5 秒で変更できます。

1 再生設定画面で、［センテンス再生］を選ぶ（☞ 57 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、戻る時間（1 〜 5 秒）を選び、▶OKボタンを押す

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

設定した時間だけスキップする（タイムスキップ）

あらかじめ設定した時間だけ、再生中に前 / 先にスキップする機能です。すばやく再生位置を移動したい場合に便利です。

1 再生設定画面で、［タイムスキップ］を選ぶ（☞ 57 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、スキップする間隔を選び、▶OKボタンを押す

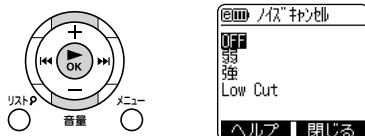
3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

■タイムスキップのしかた

☞ **「スキップモード切替について」、「タイムスキップするには」（50 ページ）**

再生中のノイズを軽減する（ノイズキャンセル）

1 再生設定画面で、［ノイズキャンセル］を選ぶ（☞ 57 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、ノイズキャンセルの種類を選び、▶OKボタンを押す

設定項目	機能
OFF	ノイズキャンセル設定オフ
弱	ノイズ軽減が弱い
強	ノイズ軽減が強い
Low Cut	低音部をノイズ軽減する

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

・ ノイズキャンセルを OFF 以外に設定すると、再生中に NC が表示されます。

サウンドイコライザー（サウンド EQ）

サウンドイコライザー（サウンド EQ）は、低音域を強調して再生したり、中音域を強調して再生するなど、7 種類の音質から選ぶことができます。また、お好みの音質を設定して再生することができます（USER）。

・ サウンド EQ は、ステレオイヤホン端子（🎧）に接続して再生しているときのみ有効です。

1 再生設定画面で、［サウンド EQ］を選ぶ（☞ 57 ページ）

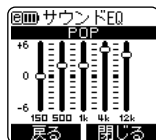
2 音量＋ / －ボタンで、再生したい音質を選び、▶OKボタンを押す

設定項目	効果
FLAT	原音のまま再生
BASS	低音域を強調
POP	高音域を強調
ROCK	低音域と高音域をやや強調
JAZZ	中音域を強調
CLEAR VOICE	雑音を軽減、聞きやすい音声
USER	お好みの音質に設定できます。（☞ 61 ページ）

・ お買い上げ時の「USER」の設定は、「FLAT」と同じです。

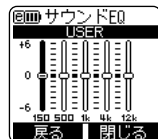
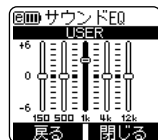
・ 設定済みの 6 種類のサウンド EQ は、設定内容を変更することはできません。

■イコライザーの詳細を確認する場合

音量＋ / －ボタンで、再生したい音質を選び、F1/ 確認ボタンを押す

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

お好み設定（USER）

サウンドイコライザー（サウンド EQ）の 5 バンドの各再生レベルを調整し、お好みの音質に設定できます。

1 サウンド EQ 設定の手順**2**で［USER］を選び、F1/ 編集ボタンを押す

2 ⏮ / ⏭ボタンで調整する周波数帯を選択し、音量＋ / －ボタンで調整する

- － 6dB ～ 6dB(13 段階）まで、1dB ごとに調整できます。dB の数字が大きいほど強調されます。
- 手順**2**を繰り返して、他の周波数帯を調整してください。
- 設定を中止する場合は、停止 / 戻るボタン、または F1/ 戻るボタンを押してください。

3 ▶OK ボタンを押して、設定を終了する

4 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

MUSIC（音楽用）フォルダについて

MUSIC（M）フォルダはパソコンから MP3、WMA および本機で録音した WAV ファイルを取り込んで再生するフォルダです。

☞「MUSIC（音楽用）フォルダについて」（25ページ）

■ PLAYLIST フォルダについて

MUSIC（M）フォルダ内の PLAYLIST（プレイリスト）フォルダには、本機で編集できる 5 つのプレイリストファイル（PLAYLIST1 ～ 5.M3U）が用意されています。

- PLAYLIST フォルダ内にファイルを転送した場合、本機の画面では表示されません。

☞「プレイリスト機能」（63 ページ）

■ MUSIC フォルダ内のファイルの順番

MUSIC（M）フォルダでは、ファイル名の先頭の数字の小さい順に自動で並べ替えられます。
001, 002, 003 ・・・　01, 02, 03 ・・・　1, 2, 3 ・・・
数字のないファイルは、その後にコピーした順に並びます。

■ MUSIC フォルダの基本画面

ファイルに楽曲情報（ID3 タグなど）がある場合、タイトル、アーティスト名、アルバム名が表示されます。
楽曲情報がない場合は、「UNKNOWN」と表示されます。

楽曲情報あり

楽曲情報なし

フォルダ頭出し再生

MUSIC フォルダでは、すばやくフォルダ頭出しを行うことができます。

- PLAYLIST 再生中は、フォルダ頭出しはできません。

1 **再生中に、F2/ 頭出しボタンを押す**

- 「フォルダ頭出し」が表示され、フォルダ頭出し表示（ ）に変わります。

2 **表示中に、⏮ / ⏭ボタンを押す**

- 前、または次のフォルダの 1 曲目を頭出しします。

- フォルダ頭出し表示中は、再生スピードを変更できません。また、メニューボタンははたらきません。

■フォルダ頭出しを解除する

- もう一度、F2/ 頭出しボタンを押す
- ▶OKボタンを押す
- 停止 / 戻るボタンを押す
（再生が終了します。）

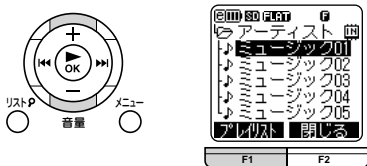
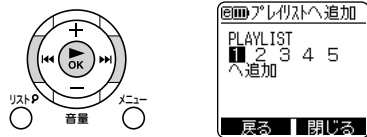
プレイリスト機能

MUSIC（M）フォルダ内の曲をプレイリストに登録し、お好みの順番で再生することができます。
- PLAYLIST フォルダ、および PLAYLIST1 ～ 5 は削除することはできません。
- PLAYLIST1～5はパソコンで編集しないでください。
- 1 つの PLAYLIST につき、99 ファイルの登録が可能です。

プレイリストにお気に入りの曲を登録する

1 MUSIC（M）フォルダを選ぶ

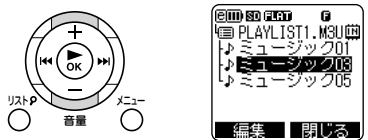
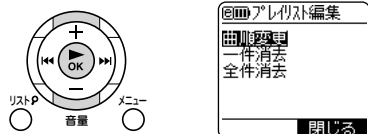
☞「メモリ / フォルダを切り換える」（21 ページ）

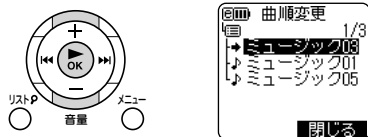
2 音量＋ / －ボタンで、プレイリストへ登録したいファイル、またはフォルダを選び、F1/ プレイリストボタンを押す

3 ⏮ / ⏭ボタンで、登録したいプレイリスト（1 ～ 5）を選び、▶OKボタンを押す

- 選択したプレイリストにファイル、またはフォルダ内の全ファイルが登録されます。

プレイリストの曲順を変更する

1 変更したいプレイリスト（P1 ～ P5）を選ぶ

☞「メモリ / フォルダを切り換える」（21 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、曲順を変更したいファイルを選び、F1/ 編集ボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、[曲順変更] を選び、▶OKボタンを押す

- 選択したファイル名の左に「➡」が付きます。

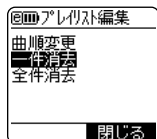
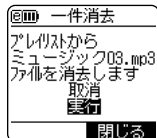
4 音量＋ / －ボタンで、「➡」が付いているファイルを再生したい曲順の位置に移動し、▶OKボタンを押す

- 曲順が変更されます。

プレイリスト内のファイルを一件消去する

1 消去したいファイルが入っているプレイリスト（P1 ～ P5）を選ぶ

☞「メモリ / フォルダを切り換える」（21 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、消去したいファイルを選び、F1/ 編集ボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、[一件消去] を選び、▶OKボタンを押す

4 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

- 選択したファイルがプレイリストから消去されます。

プレイリスト内のファイルを全件消去する

1 消去したいプレイリスト（P1 ～ P5）を選ぶ

☞「メモリ / フォルダを切り換える」（21 ページ）

2 F1/ 編集ボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、[全件消去] を選び、▶OKボタンを押す

4 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

- プレイリスト内の全てのファイルが消去され、「No File」と表示されます。

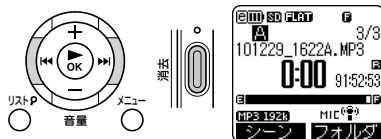
消去する前に

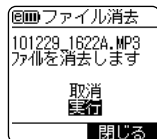
- 誤消去防止のため、必ず内容をお確かめください。
- 操作前に電池残量が十分残っていることをお確かめください。
- ゴミ箱機能（☞ 68 ページ）が「ON」の場合、消去したファイルを元に戻すことができます。ただし、消去したファイルが一旦ゴミ箱（🗑）に移動されるため、録音可能時間（メモリの空き容量）は増えません。録音可能時間を増やすためには、ゴミ箱（🗑）を空にして、完全に消去してください。

ファイルを一件消去する

1 消去するファイルが保存されているフォルダを選ぶ

☞「メモリ / フォルダを切り換える」（21 ページ）

2 ⏮ / ⏭ボタンで、消去するファイルを選び、消去ボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、[ファイル] を選び、▶OKボタンを押す

4 音量＋ / －ボタンで、[実行] を選び、▶OKボタンを押す

● ゴミ箱機能が「ON」の場合

「消去実行中」→「消去ファイル以降のファイル名を更新しています」* →「🗑ゴミ箱に移しました」と表示し、ファイルがゴミ箱に移動します。

もう一度▶OKボタンを押してください。

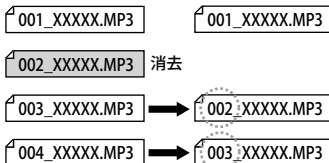
* フォルダ末尾のファイルを消去した場合は表示されません。

● ゴミ箱機能が「OFF」の場合

「消去実行中」と表示し、ファイルを消去します。

■ファイル消去後のファイル番号について

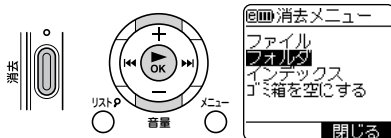
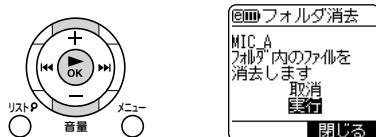
ファイルを消去すると、以降のファイル番号が 1 つずつ前に詰められます。

例：002_XXXXX.MP3 を消去する

- ファイル先頭のファイル番号（001_）は、パソコンでのみ表示されます。本機では表示されません。

フォルダ内のファイルを全件消去する

1 消去するフォルダを選ぶ

☞「メモリ / フォルダを切り換える」(21 ページ)

2 消去ボタンを押し、音量＋ / －ボタンで、［フォルダ］を選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

● ゴミ箱機能が［ON］の場合

「消去実行中」→「🗑ゴミ箱に移しました」と表示し、ファイルがゴミ箱に移動します。
もう一度▶OKボタンを押してください。

● ゴミ箱機能が［OFF］の場合

「消去実行中」と表示し、ファイルを消去します。

ヒント

「ファイル検索」画面（☞ 53 ページ）からも消去できます。

● ファイル消去
消去するファイルを検索し、消去ボタンを押す

● フォルダ内消去（フォルダ検索モードのみ）
消去するフォルダを検索し、消去ボタンを押す

・［録音ファイル検索］モードでファイルを消去すると、録音ファイル検索画面に戻ります。

メモリ内のファイルを全件消去する（フォーマット）

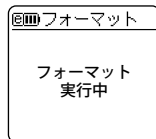
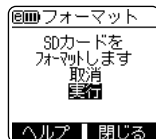
内蔵メモリ、カード内のファイルを全件消去します。（フォーマット）

消去する前に

- フォーマットすると、ゴミ箱機能が［ON］の場合でもすべてのファイルが完全に本機、またはカードから消去されます。消去したファイルは元に戻すことができませんので、必要なデータは、パソコンや外部機器にバックアップを取っておいてください。
- 電池残量が十分残っていることをお確かめください。

1 共通設定画面で、［フォーマット］を選ぶ（☞ 82 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、フォーマットするメモリを選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

- メモリ内のファイルを全件消去すると、「フォーマット完了！」と表示され、共通設定画面に戻ります。

ご注意

- フォーマット実行中は、取り消しはできません。
- フォーマット中に、カードや電池を抜かないでください。

4 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

お買い上げ時、本機ではゴミ箱機能が［ON］に設定されています。

● ゴミ箱機能が「ON」の場合

本機で消去したファイルはゴミ箱（🗑）に移動 *[1] します。ゴミ箱（🗑）の中のファイルは元のフォルダに戻すことができるため、間違って消去した場合でも安心です。

*[1] MUSIC（M）フォルダのファイルは、ゴミ箱機能「ON」、「OFF」にかかわらず、ゴミ箱（🗑）フォルダに移動されません。本機から完全に消去されます。

● ゴミ箱機能が「OFF」の場合

ファイル消去、フォルダ消去を行った場合、データは内蔵メモリ、またはカードから消去され、元に戻すことができません。

誤消去防止のため、ゴミ箱機能は「ON」に設定した状態でお使いになることをおすすめします。（☞ 86 ページ）

■ゴミ箱に移動したファイルのファイル表示

①ゴミ箱のファイル番号
②消去前に保存されていたフォルダ
③消去前のファイル番号

■ゴミ箱に移動したファイルのファイル名

ゴミ箱に移動したファイルのファイル名は自動で変更されます。

例：MIC_A フォルダの "001_101225_1230A.MP3" のファイルをゴミ箱に移動した場合

001_001_101225_1230A.MP3
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

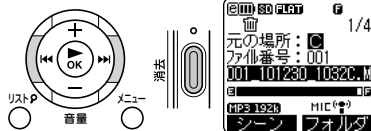
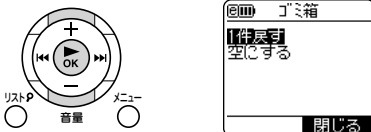
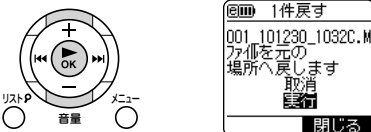
①ゴミ箱のファイル番号 *[2]
001、002、003…というように、ゴミ箱に移動した順番で付けられます。
②消去前のファイル番号
③録音した日付（年月日）
④録音した時刻（時分）
⑤消去前に保存されていたフォルダ（A ～ D、L）
⑥拡張子（ファイル形式）
MP3 録音：MP3
PCM 録音：WAV

*[2] ゴミ箱のファイル番号（001_）は、パソコンでのみ表示されます。本機では表示されません。

ゴミ箱のファイルを元のフォルダに戻す

1 ゴミ箱フォルダを選ぶ

☞「メモリ / フォルダを切り換える」(21 ページ)

2 ⏮/⏭ボタンで、元のフォルダに戻すファイルを選び、消去ボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、[1 件戻す] を選び、▶OKボタンを押す

4 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

- 元のフォルダの末尾に戻り、ファイル名も元に戻ります。
  もう一度、▶OKボタンを押してください。基本画面に戻ります。

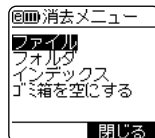
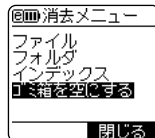
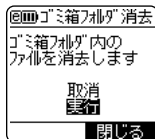
- 「＊がいっぱいです。ファイルを戻せません」と表示された場合は、＊のフォルダのファイル数が制限数 199 に達しています。空き容量を増やすため、ファイルを消去し、もう一度最初からやり直してください。

ゴミ箱を空にする

ゴミ箱を空にすると、ゴミ箱内のファイルは完全にメモリから削除され、元に戻すことはできません。必要なデータは、ゴミ箱を空にする前にパソコンや外部機器などに保存してください。

ご注意

実行する前に、内蔵メモリとカードのどちらが選択されているか（☞ 21 ページ）を必ずお確かめください。

1 停止中に消去ボタンを押す

2 音量＋ / －ボタンで、［ゴミ箱を空にする］を選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / −ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

・「ゴミ箱を空にしています...」と表示され、ゴミ箱が空になります。

■ゴミ箱フォルダから消去する

ゴミ箱フォルダからも消去できます。

① **F2/ フォルダボタンを押し、ゴミ箱（🗑）を選ぶ**
② **消去ボタンを押す**
③ **[空にする] を選び、▶OKボタンを押す**
④ **音量＋ / −ボタンで［実行］を選び、▶OKボタンを押す**

ゴミ箱に関するご注意

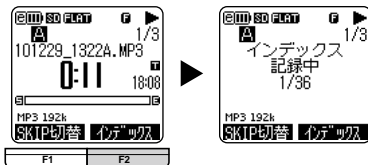
・ゴミ箱機能が「ON」のときにファイルを消去しても、消去したファイルが一旦ゴミ箱（🗑）に移動するるため、録音可能時間（メモリの空き容量）は増えません。録音可能時間を増やすためには、ゴミ箱（🗑）を空にして、完全に消去してください。（☞ 69 ページ）
・ゴミ箱（🗑）の最大ファイル数は 199 です。ゴミ箱（🗑）に 199 ファイルある場合、それ以上ファイルを消去できませんので、ゴミ箱（🗑）を空にしてください。（☞ 69 ページ）
・ゴミ箱にファイルが多くたまると、動作の低下をまねく恐れがあります。定期的にゴミ箱を空にすることをおすすめします。
・インデックスの付いたファイルはインデックスファイルも一緒にゴミ箱に移動しますが、ゴミ箱ではインデックスは使用できません。
・ゴミ箱機能を「OFF」にしただけでは、ゴミ箱のファイルは消去されません。
・ゴミ箱は、フォルダ検索画面では「RECYCLE」と表示されます。
・メモリの空き容量が少ないと、ファイルをゴミ箱に移動できない場合があります。

聞きたい位置をマークする（インデックス）

インデックスを付けると、再生時にインデックス位置の頭出しができるため、聞きたい位置をすばやく見つけることができます。

インデックスを付ける

MUSIC(M) フォルダ、ゴミ箱フォルダ内のファイルには、インデックスを付けることができません。

1 録音中、または録音一時停止中、再生中に、インデックスを付けたい位置でF2/ インデックスボタンを押す

- １ファイルに付けることができるインデックスは、最大 36 個です。
- インデックスを付けたファイルをファイル分割すると、インデックスは消去されます。

インデックス送り / 戻しをするには

インデックスを付けたファイルの再生中に、▶▶|を一回押すと次のインデックスに、|◀◀を一回押すと前のインデックスにスキップします。

- インデックス送り / 戻し操作をすると、「インデックス記録位置＊」と表示されます。
- スキップモードがタイムスキップの場合、タイムスキップがはたらきます。（☞ 50 ページ）

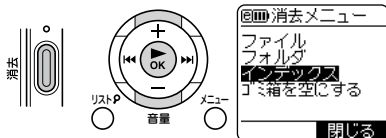
インデックスを消去する

インデックスは個別に消去することはできません。ファイル内のインデックスは、一括で消去されます。

1 インデックスを消去するファイルが入っているフォルダを選ぶ

☞「メモリ / フォルダを切り換える」（21 ページ）

2 |◀◀ / ▶▶|ボタンで、インデックスを消去するファイルを選ぶ

3 消去ボタンを押し、音量＋ / －ボタンで［インデックス］を選び、▶OKボタンを押す

4 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

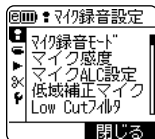
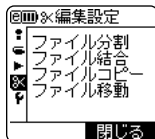
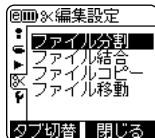
- 「消去実行中」と表示され、基本画面に戻ります。

編集に関する機能と設定

編集設定を使って、本機で録音したファイルをいろいろな方法で編集することができます。

編集設定画面の出しかた

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 停止中にメニューボタンを押す

2 音量＋ / －ボタンで、［✂ 編集設定］を選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、編集する項目を選び、▶OKボタンを押す

・ F1/ タブ切替ボタンを押すと他の設定画面に切り替わります。

・ 設定内容、変更方法については各項目で異なります。下記ページを参照してください。

設定項目	参照先
ファイル分割	73 ページ
ファイル結合	74 ページ
ファイルコピー	76 ページ
ファイル移動	77 ページ

ヒント

・ 設定中に ヘルプ が表示されている場合は、F1/ ヘルプボタンを押すと、簡単ガイドが表示されます。
・ 操作中に停止 / 戻るボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

ファイルを 2 つに分割する（ファイル分割）

本機で録音した 1 つのファイルを 2 つに分割することで、不要部分をカットしたり、必要部分を抽出することができます。

- 分割したファイルは元には戻せません。ファイルコピー (☞ 76 ページ) を行うか、パソコンにバックアップを取っておくことをおすすめします。
- インデックスを付けたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。
- ファイルを分割するとフォルダ内のファイルが 1 つずつ後ろに送られます。
- ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。

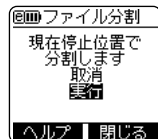
以下の場合は、ファイル分割できません。

- MUSIC（M）フォルダやゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイル
- 199 ファイル保存されているフォルダ内のファイル
- 分割するファイルが 2 秒に満たない短いファイル
- 内蔵メモリやカードに空き容量がない場合

1 分割したいファイルを再生する

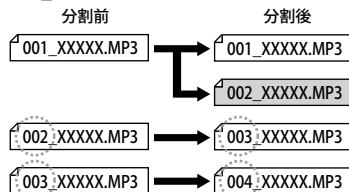
2 分割したい位置で、停止 / 戻るボタンを押す

3 編集設定画面で、［ファイル分割］を選ぶ (☞ 72 ページ)

4 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

- 「ファイル分割実行中」→「分割ファイル以降のファイル名を変更しています *」→「ファイル分割完了！」と表示され、ファイルが分割されます。
  - * 最後のファイルを分割した場合は表示されません。

■ファイル分割後のファイル番号の付き方

ファイルを分割すると、以降のファイル番号が 1 つずつ後ろに送られます。

例：001_XXXXX.MP3 を分割する

- ファイル先頭のファイル番号（001_）は、パソコンでのみ表示されます。本機では表示されません。

ファイルを結合する（ファイル結合）

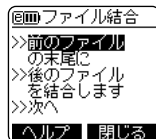
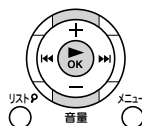
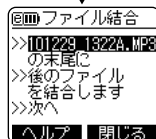
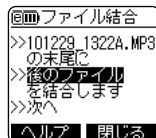
本機で録音した2つのファイルを1つのファイルに結合することができます。

- 結合したファイルは元に戻せません。結合前の2つのファイルは削除されますので、ファイルコピー (☞ 76 ページ) を行うか、パソコンにバックアップを取っておくことをおすすめします。
- インデックスを付けたファイルを結合すると、インデックスは消去されます。
- 結合したファイルは、前のファイルが保存されていたフォルダに保存されます。
- ファイルを結合すると、後ろのファイル以降のファイル番号が一つずつ前に詰められます。
- ファイル分割したファイルを結合した場合、元ファイルと 100%同様のデータに戻らない場合があります。

以下の場合は、結合できません。

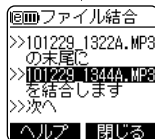
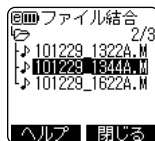
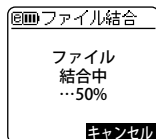
- MUSIC（M）フォルダやゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイル
- 電池残量表示が▭、または▭の場合
- 結合する2つのファイルが選択されていない場合
- 内蔵メモリのファイルとカードのファイル結合
- 結合後のファイルサイズが合計 2GB 以上になる場合
- 結合後のファイルサイズ以上の空き容量がない場合
- 「後ろのファイル」のサイズ分以上の空き容量がない場合
- 2つのファイルの録音モード（ビットレート）が異なる場合

1 編集設定画面で、［ファイル結合］を選ぶ (☞ 72 ページ)

2 音量＋ / －ボタンで、［前のファイル］を選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタン、⏮ / ⏭ボタンで、結合元のファイル（前のファイル）を選び、▶OKボタンを押す

4 音量＋ / －ボタンで、［後のファイル］を選び、▶OKボタンを押す

5 音量＋ / －ボタンで、後ろに結合するファイルを選ぶ

6 音量＋ / －ボタンで、［次へ］を選び、▶OKボタンを押す

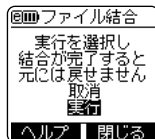
7 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

- バックライト点灯時間を設定（☞ 83 ページ）している場合、実行と同時に消灯します。ただし、設定が「常時 ON」の場合は結合完了後、点灯します。

- 「ファイル結合中」→「ファイル名を更新しています」→「ファイル結合完了！」と表示され、ファイルが結合されます。

- 結合完了までに F2/ キャンセルボタンを押すと、結合を取り止めます。

■ファイル結合後のファイル番号の付き方

ファイルを結合すると、後ろのファイル以降のファイル番号が一つずつ前に詰められます。

例：001_XXXXX.MP3 と 003_XXXXX.MP3 を結合する

- ファイル先頭のファイル番号（001_）は、パソコンでのみ表示されます。本機では表示されません。

ファイルをコピーする（ファイルコピー）

内蔵メモリ、またはカードに保存されている録音ファイルを別のフォルダ、または別のメモリへコピーすることができます。

- MUSIC（M）フォルダやゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルは、コピーできません。
- 電池残量表示が▭、または▭の場合は、コピーできません。
- コピー先に、コピーするファイル以上の空き容量がない場合、ファイルはコピーできません。
- コピー先のフォルダにファイルが 199 個ある場合はコピーできません。

1 編集設定画面で、［ファイルコピー］を選ぶ (☞ 72 ページ)

2 音量＋ / －ボタン、⏮/⏭ボタンでコピーするファイルを選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、コピー先となるメモリを選び、▶OKボタンを押す

4 音量＋ / －ボタンで、コピー先となるフォルダを選び、▶OKボタンを押す

5 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

- バックライト点灯時間を設定（☞ 85 ページ）している場合、実行と同時に消灯します。
  ただし、設定が「常時 ON」の場合は結合完了後、点灯します。
- 「ファイルコピー中」→「ファイルコピー完了！」と表示され、ファイルコピーが完了します。
- ファイルは、選択したフォルダの末尾にコピーされます。
- コピー完了までに F2/ キャンセルボタンを押すと、コピーを取り止めます。

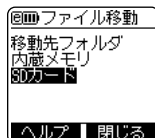
ファイルを移動する（ファイル移動）

内蔵メモリ、またはカードに保存されている録音ファイルを別のフォルダ、または別のメモリへ移動することができます。

- MUSIC（M）フォルダやゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルは、移動できません。
- 電池残量表示が▭、または▭の場合は、移動できません。
- 移動先に、移動するファイル以上の空き容量がない場合、ファイルは移動できません。
- 移動先のフォルダにファイルが 199 個ある場合は移動できません。

1 編集設定画面で、［ファイル移動］を選ぶ (☞ 72 ページ)

2 音量＋ / －ボタン、⏮/⏭ボタンで、移動するファイルを選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、移動先となるメモリを選び、▶OKボタンを押す

4 音量＋ / －ボタンで、移動先となるフォルダを選び、▶OKボタンを押す

5 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

- バックライト点灯時間を設定（☞ 85 ページ）している場合、実行と同時に消灯します。
  ただし、設定が「常時 ON」の場合は結合完了後、点灯します。
- 「ファイル移動中」→「ファイル名を更新しています」→「ファイル移動完了！」と表示され、ファイル移動が完了します。
- ファイルは、選択したフォルダの末尾に移動します。
- 移動完了までに F2/ キャンセルボタンを押すと、移動を取り止めます。

タイマー機能を使う

タイマー機能を使うと、設定した日時にマイク録音、ライン録音、ファイルの再生、BEEP 音を鳴らすなどの機能を実行することができます

・ タイマーライン録音では、自動無音分割はできません。

1 共通設定画面で、［タイマー設定］を選ぶ（☞ 82 ページ）

2 下表を参照し、タイマーを設定する

■タイマー設定の基本操作

① 音量＋ / －ボタンで、設定項目を選び、OKボタンを押す

② 音量＋ / －、⏮/⏭ボタンで設定内容を変更し、OKボタンを押す

・ ①②を繰り返して、設定してください。

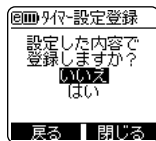
設定項目	機能
設定	OFF : タイマーは実行しません。 ON : タイマーを実行します。
繰返し	1 回 : 設定した時刻に 1 回だけ録音、または再生します。 毎日 : 設定した時刻に毎日録音、または再生します。 曜日指定 : □にチェックを入れた曜日の設定時刻に録音、または再生します。 ※ OKボタンで□にチェックを入れる、またははずします。
時刻	録音、および再生の開始時刻 / 終了時刻を設定します。 ※カレンダー設定により、24H、AM/PM の表示が異なります。
動作	再生 : 設定した時刻にファイルを再生、または BEEP 音を鳴らします。 ※ タイマー設定時の音量で再生します。 録音 : 設定した時刻に録音を開始します。 ※ 録音開始時刻1分前になると、録音LEDが点滅し、タイマー録音待機状態になります。
再生先 *1	BEEP : BEEP 音を鳴らします。 ファイル再生 : 選択したファイルを再生します。 ※ F1/ メモリ切替ボタンで「内蔵メモリ」と「SD カード」の切り替えができます。
録音元 *2	MIC : マイク録音します。 LINE : ライン録音します。
音質 *2	PCM 48kHz/44.1kHz、MP3 320kbps/192kbps/128kbps/64kbps/32kbps
録音先 *2	録音したファイルを保存するフォルダを選びます。 ※ カード用フォルダを選択した場合は必ずカードを装着してください。

*1「動作」で「再生」を選択した場合に表示されます。

*2「動作」で「録音」を選択した場合に表示されます。

3 設定が完了したら、音量＋/－ボタンで、画面一番上の［設定完了］を選び、▶OKボタンを押す

ご注意

- 必ず「設定完了」の操作を行ってください。「設定完了」の操作を行わず、設定の途中で停止 / 戻るボタンや F2/ 閉じるボタンを押すと、「設定した内容で登録しますか？」の確認画面が表示される場合があります。音量＋/－ボタンで［はい］、［いいえ］を選び、▶OKボタンを押してください。

4 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

タイマー設定表示

■タイマー設定表示について

- [時計アイコン]：正しくタイマーが設定されている場合に表示されます。
- [×アイコン]：繰返し設定が「1 回」のとき、タイマー録音（再生）に失敗すると表示されます。
  [×アイコン]を消すには、設定を「OFF」にする、または再度タイマーを設定してください。
- [黒時計アイコン]：繰返し設定が「毎日」、または「曜日設定」のとき、タイマー録音（再生）に失敗すると表示されます。
  次回のタイマーが正常に動作すると[黒時計アイコン]は自動的に消えます。また、設定を「OFF」にする、または再度タイマーを設定すると[黒時計アイコン]は消えます。

■タイマーが正常に動作しない場合

☞**「故障かな？と思ったら（よくあるご質問）」（101 ページ）**

ご注意

- 電源を切っている場合でも、タイマー設定が「ON」の場合、設定した時刻に電源が入り（タイマー録音の場合は設定した時刻の 1 分前）、録音または再生が開始され、終了すると電源が切れます。
- カレンダー設定を初期化すると、タイマー設定は「OFF」になります。
- タイマー再生中は、再生スピードの変更はできません。
- タイマー再生で「ファイル再生」を設定後、選択したファイルを消去すると、タイマー設定時刻に BEEP 音が 30 秒間鳴ります。

メニュー一覧

■設定メニュー

停止中にメニューボタンを押す

メニュー	設定項目	設定内容	参照先
マイク録音設定	マイク録音モード	PCM: 48kHz/44.1kHz **MP3**: 320kbps/**192kbps**/128kbps/64kbps/32kbps	35 ページ
	マイク感度	**高** / 低	35 ページ
	マイク ALC 設定	OFF/**ON**	36 ページ
	低域補正マイク	OFF/**ON**	37 ページ
	Low Cut フィルタ	**OFF**/ON	37 ページ
	録音ピークリミッター	**OFF**/ON	38 ページ
	セルフタイマー録音	**OFF**/5 秒 /10 秒 /30 秒	38 ページ
	VAS 設定	**OFF**/ON	39 ページ
ライン録音設定	ライン録音モード	PCM: 48kHz/44.1kHz **MP3**: 320kbps/**192kbps**/128kbps/64kbps/32kbps	46 ページ
	ライン入力設定	**ヘッドホン出力** / ライン出力 : ポータブル / ライン出力 : コンポ	47 ページ
	自動無音分割	**OFF**/ON（自動停止）/ON（手動停止）	48 ページ
再生設定 ※再生中にメニューボタンを押した場合も設定できます。	時間指定サーチ	現時間 00:00:00　総時間 00:00:00	58 ページ
	リピート設定	**OFF**/1 曲 / フォルダ / フォルダ内ランダム / 全曲 / 全曲ランダム	58 ページ
	センテンス再生	1 秒～（**3 秒**）～ 5 秒	59 ページ
	タイムスキップ	**5 秒** /10 秒 /30 秒 /1 分 /5 分 /10 分 /15 分	59 ページ
	ノイズキャンセル	**OFF**/ 弱 / 強 /Low Cut	60 ページ
	サウンド EQ	**FLAT**/BASS/POP/ROCK/JAZZ/CLEAR VOICE/USER	60 ページ
編集設定	ファイル分割	**取消** / 実行	73 ページ
	ファイル結合	**取消** / 実行	74 ページ
	ファイルコピー	**取消** / 実行	76 ページ
	ファイル移動	**取消** / 実行	77 ページ
共通設定	BEEP 音設定	OFF/ **音声ガイド** / 警告音（音量大 / **音量中** / 音量小）	83 ページ
	録音 LED	OFF/**ON**	83 ページ
	カレンダー設定	年月日 /24H/AM(PM)/ 時分 *[1]	19 ページ

・ 設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

*[1] お買い上げ時は 2010 年 11 月 1 日 24H0 時 00 分に設定されています。

メニュー	設定項目	設定内容	参照先
共通設定	タイマー設定	設定　 : **OFF**/ON 繰返し : **1 回** / 毎日 / 曜日指定 時刻　 : 開始時刻 00:00　終了時刻 00:00 動作　 : **録音** / 再生 録音元 : **MIC**/LINE 音質　 : PCM 48kHz/44.1kHz **MP3** 320kbps/**192kbps**/128kbps/ 64kbps/32kbps 録音先 : **MIC_A** ～ D/MIC_A_SD ～ D_SD LINE/LINE_SD 再生先 : **BEEP**/ ファイル再生	78 ページ
	電池切換	**エネループ** / アルカリ電池	84 ページ
	オートパワーオフ	OFF(0) ～ **15 分**	84 ページ
	バックライト	OFF/5 秒 /**15 秒** / 常時 ON	85 ページ
	コントラスト	淡 (1) ～（**5**）～濃 (10)	85 ページ
	ゴミ箱機能	OFF/**ON**	86 ページ
	フォーマット	**内蔵メモリ** /SD カード	67 ページ
	メニュー初期化	**取消** / 実行	86 ページ
	バージョン	ファームウェアのバージョン表示	86 ページ

■録音スタンバイ中メニュー

録音スタンバイ中にメニューボタンを押す

● マイク録音

メニュー	設定項目	設定内容	参照先
マイク録音設定	マイク感度	**高** / 低	35 ページ
	低域補正マイク	OFF/**ON**	37 ページ
	Low Cut フィルタ	**OFF**/ON	37 ページ
	録音 EQ	**FLAT**/RECOMMEND/SUPER BASS/BASS/ MIDDLE/BASS&TREBLE/TREBLE/ SUPER TREBLE/USER	40 ページ

● ライン録音

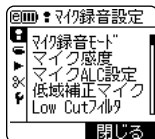
メニュー	設定項目	設定内容	参照先
ライン録音設定	ライン入力設定	**ヘッドホン出力** / ライン出力：ポータブル / ライン出力：コンポ	47 ページ
	自動無音分割	**OFF**/ON（自動停止）/ON（手動停止）	48 ページ

その他の機能と設定（共通設定）

本機に関するさまざまな設定を行います。

共通設定画面の出しかた

電源を入れる（☞ 17 ページ）

1 停止中にメニューボタンを押す

2 音量＋ / －ボタンで、［共通設定］を選び、▶OKボタンを押す

3 音量＋ / －ボタンで、変更する項目を選び、▶OKボタンを押す

- F1/ タブ切替ボタンを押すと他の設定画面に切り替わります。

- 設定内容、変更方法については各項目で異なります。下記ページを参照してください。

設定項目	参照先
BEEP 音設定	83 ページ
録音 LED	83 ページ
カレンダー設定	19 ページ
タイマー設定	78 ページ
電池切換	84 ページ
オートパワーオフ	84 ページ
バックライト	85 ページ
コントラスト	85 ページ
ゴミ箱機能	86 ページ
フォーマット	67 ページ
メニュー初期化	86 ページ
バージョン	86 ページ

ヒント

- 設定中に ヘルプ が表示されている場合は、F1/ ヘルプボタンを押すと、簡単ガイドが表示されます。
- 操作中に停止 / 戻るボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

音声ガイドやボタン操作音を設定する（BEEP 音設定）

音声ガイドやボタンを押したときにピッと音が鳴るように設定します。

1 共通設定画面で［BEEP 音設定］を選ぶ （☞ 82 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、設定項目を選び、▶OKボタンを押す

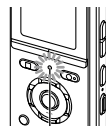
設定項目	機能
OFF	BEEP 音オフ
音声ガイド	ボタン操作時、音声ガイドとピッという音を鳴らす
警告音	ボタン操作時、ピッという音を鳴らす

・ OFF を選択した場合は、手順 4 へ進んでください。

3 音量＋ / －ボタンで、音量を選び、▶OKボタンを押す

4 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

録音 LED を点灯 / 消灯する（録音 LED）

録音中、録音一時停止中、録音スタンバイモードで、録音 LED を点灯または消灯を設定します。

1 共通設定画面で［録音 LED］を選ぶ （☞ 82 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、［ON］、または［OFF］を選び、▶OKボタンを押す

設定項目	機能
OFF	録音 LED 消灯
ON	録音 LED 点灯（点滅）

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

その他

その他の機能と設定（共通設定）

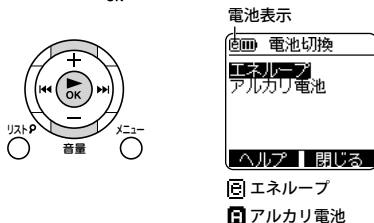
使用する電池の種類を切り換える（電池切換）

使用する電池の種類（エネループ充電池、またはアルカリ乾電池）を設定します。

1 共通設定画面で［電池切換］を選ぶ（☞ 82 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、使用している電池を選び、▶OK ボタンを押す

電池表示
電池切換
エネループ
アルカリ電池
ヘルプ 閉じる

Ⓔ エネループ
Ⓐ アルカリ電池

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

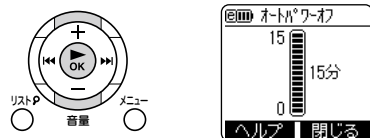
ご注意

- 設定している種類と異なる電池を使用すると、電池残量などが正しく表示されません。

自動電源オフの時間を設定する（オートパワーオフ）

電源を入れた状態で、何も操作しなかったとき、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。電源を切り忘れても自動で電源が切れるため、余分な電池の消耗を防ぎ、省エネになります。

1 共通設定画面で［オートパワーオフ］を選ぶ（☞ 82 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、電源が切れるまでの時間を設定し、▶OK ボタンを押す

設定範囲：0（OFF）～１５分
- １分毎に設定できます。
- 0（OFF）に設定するとオートパワーオフ機能ははたらきません。

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

画面のバックライトの点灯時間を設定する（バックライト）

ボタンを押したときの画面のバックライトの点灯時間を設定します。

1 共通設定画面で［バックライト］を選ぶ（☞ 82 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、設定項目を選び、▶OKボタンを押す

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

ご注意

・ 電池残量が少ない場合は、バックライトが点灯しないことがあります。

画面の明るさを調整する（コントラスト）

画面のコントラスト（明るさ）を調整します。

1 共通設定画面で［コントラスト］を選ぶ（☞ 82 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、画面の濃淡を選び、▶OKボタンを押す

・ 濃淡は 10 段階で設定できます。

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

ゴミ箱機能を設定する（ゴミ箱機能）

本機お買い上げ時は、消去したファイルをゴミ箱フォルダに移動するゴミ箱機能が設定されています。
ゴミ箱フォルダに移動されたファイルは、あとから元に戻せるので間違って消去した場合も安心です。
ゴミ箱フォルダをオフにすると、消去したファイルは完全に消去され、元に戻すことが出来ません。誤消去防止の為、通常はゴミ箱機能を ON にしておくことをお勧めします。

1 共通設定画面で［ゴミ箱機能］を選ぶ（☞ 82 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、［ON］、または［OFF］を選び、▶OKボタンを押す

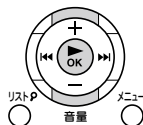
設定項目	機能
OFF	消去したファイルを削除
ON	消去したファイルをゴミ箱に移動

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

変更したメニュー設定を元に戻す（メニュー初期化）

メニューを初期化すると、お買い上げ時の設定に戻ります。（カレンダー設定を除く）

1 共通設定画面で［メニュー初期化］を選ぶ（☞ 82 ページ）

2 音量＋ / －ボタンで、［実行］を選び、▶OKボタンを押す

- メニューの初期化が実行されます。

3 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

バージョンを確認する（バージョン）

本機のファームウェアのバージョンを確認することができます。

1 共通設定画面で［バージョン］を選ぶ（☞ 82 ページ）

- 現在のバージョンが表示されます。

2 F2/ 閉じるボタンを押して、基本画面に戻る

動作環境

対応機種	Microsoft Windows 標準搭載パソコン
OS	Microsoft Windows XP /Vista/ 7 標準インストール（日本語版）
その他	・一つ以上空きのある USB ポート搭載パソコン ・サウンド再生機能（スピーカー、ヘッドホン含む）搭載パソコン

■ Widnows Media Player について

お使いの OS に対応した最新版の Widows Media Player をお使いください。

Windows 7	Windows Media Player 12
Windows Vista / XP	Windows Media Player 11

最新版の Windows Media Player は以下 URL より入手できます。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

動作環境に関するご注意

- Macintosh など Windows を搭載していないパソコンでは動作保証いたしません。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコン、OS をアップデートしたもの、マルチブート環境では動作保証いたしません。
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 本機をパソコンに接続する場合は、管理者権限（Administrators）のユーザにてご使用ください。
- Windows Vista/XP については、64bit 版の OS は動作保証いたしません。

パソコンに接続して使用する場合のご注意

- 内蔵メモリやカードの初期化（フォーマット）は本機で行ってください（☞ 67 ページ）。パソコンで初期化すると以降の録音が正しく動作しない場合があります。
- 本機で録音したファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。ファイル名規則に則ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください（☞ 24 ページ）
- 本機の初期フォルダである、「MIC_A」～「MIC_D」、「LINE」、「MUSIC」、「DATA」、「RECYCLE」フォルダの名前を変えないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。
  ☞フォルダとファイルの構成（23 ページ）
- 本機からパソコンにファイルを転送したり、パソコンから本機にファイルを転送する場合、パソコンの画面上で転送中の表示が消えても、本機の液晶画面で通信中と表示されている場合はデータを転送中ですので、USB 接続を取り外さないでください。また、本機をパソコンから取り外す場合は、必ず 89 ページに記載の方法で操作してください。

本書のパソコン画面について

本書で使用する画面は、Windows XP/Windows Media Player 11 となります。その他のバージョンの OS/Window Media Player をお使いの場合は、当社サポート HP をご覧ください。
http://jp.sanyo.com/icr/support/

パソコンでできること

●パソコンを使って充電する
（☞ 89 ページ）
本機をパソコンに接続して、エネループを充電することができます。

●録音したファイルをパソコンに保存する
（☞ 92 ページ）
本機で録音した音声ファイルをパソコンにバックアップできます。

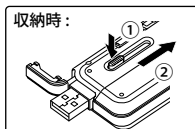
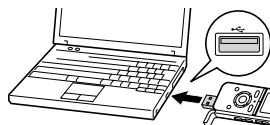
●パソコン側のファイルを本機に転送する
（☞ 93 ページ）
パソコンにバックアップした音声ファイルをもう一度本機に戻して聞いたり、音楽 CD や語学 CD から取り込んだファイルを本機に転送して聞くことが出来ます。

●音声ファイルを CD-R にコピーする
（☞ 94 ページ）
本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R にコピーすることができます。

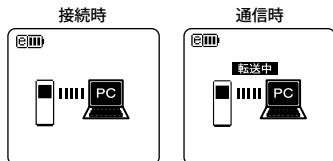
●音楽 CD や語学 CD を本機に取り込んで聞く
（☞ 97 ページ）
音楽 CD や語学 CD などから本機で再生可能なファイルを作成し、本機に転送して楽しむことができます。

●外部ストレージとして利用する
（☞ 98 ページ）
本機を USB メモリや microSD カードリーダー / ライターとして使うことができます。

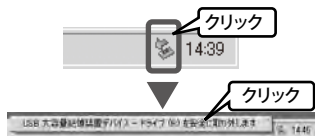
パソコンに接続する

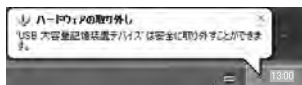
1 本機の USB 端子を出す

2 本機の電源がオフの状態で、パソコンの USB ポートに接続する

- 初めて接続した場合、ドライバインストール中のメッセージが表示されますので、表示が消えるまで本機を取り外さないでください。
- パソコン接続時、「自動再生」画面が表示される場合は、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックすると、本機のフォルダを表示することができます。（☞ 23 ページ）
- バスパワー型 USB ハブを経由して接続すると正常に動作しない場合があります。この場合は USB ハブを使用しないでください。
- USB 延長ケーブルを使用する場合は、必ず別売の専用 USB 延長ケーブル（KA-USBC1）を使用してください。

■パソコン接続中の本機の画面表示

・ 通信時は、本機をパソコンから抜かないでください。

本機のフォルダ、ファイルを確認する場合は、引き続き 91 ページをご覧ください。

パソコンから取り外す

1 [タスクトレイ] の をクリックし、[USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(F*)を安全に取り外します] をクリックする

* お使いのパソコン環境により、ドライブのアルファベット表記が異なりますが、問題はありません。

2 図の画面が表示されたら本機を取り外す

・ [タスクトレイ] に が表示されない場合は、 をクリックしてください。隠れているアイコンが表示されます。それでも表示されない場合は、パソコンの電源を切り、本機を取り外してください。

エネループを充電する

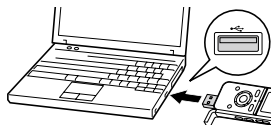
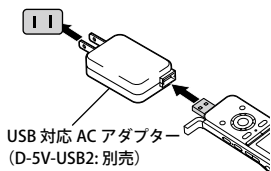
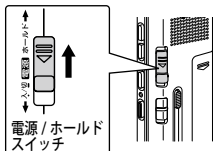
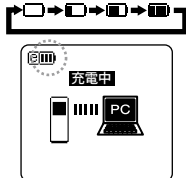
本機に入れたエネループ充電池を充電します。充電前に必ずエネループ充電池が入っていることを確認してください。

アルカリ乾電池等を入れたまま充電すると、発熱、液漏れ等、本機の故障の原因となりますので絶対に行わないでください。

1 本機の USB 端子を出す

☞「パソコンに接続する」の手順1 (86 ページ)

2 本機をパソコン、または USB 対応 AC アダプターに接続する

●パソコンの場合

● USB 対応 AC アダプターの場合

3 **本機の画面が PC 接続中の画面であることを確認して、電源 / ホールドスイッチをホールド側にする**

- 充電中は、録音 LED が点灯し、電池残量表示が下図のように切り換わります。

- 途中で充電を止めるときは、電源 / ホールドスイッチを戻してください。

4 **録音 LED が消灯したら充電完了です。ホールドスイッチを元に戻し、本機を取り外してください。**

- 充電時間は約 120 分 * です。

* 使い切った電池を満充電する場合の目安です。電池の残量や周囲温度などによって変化します。

ご注意

- 電池切換設定が「アルカリ電池」に設定されている場合は充電されません。「エネループ」に切り換えて下さい。（☞ 84 ページ）
- 電源 / ホールドスイッチをホールド側にした状態でパソコンに接続すると充電が開始されません。電源 / ホールドスイッチをいったん戻してから、再度ホールド側に切り換えてください。
- 以下の状態のときは充電しない場合があります。
  - パソコンが休止状態になったとき
  - パソコンを再起動したとき
- 電池残量表示に「×」が表示される場合、以下のような理由により充電できません。
  - エネループ以外の充電池が入っている
  - 本機に電池が入っていない
  - 本機の温度が上がっている

  （パソコンから取り外し、電源オフ状態でしばらく放置してから接続してください。）
- 充電中に電池や本体が熱くなることがありますが異常ではありません。
- 満充電しても電池の使用時間が著しく短くなった時が電池の寿命です。新しい単 4 形エネループ充電池をお買い求めください。
- 充電中は電池ぶたを必ず閉めてください。
- データ転送中でも充電できます。

パソコンで本機のフォルダ / ファイルを確認する

本書では、本機に microSD カード（本機でフォーマット済み）が入っている状態で説明しています。

パソコンに接続する（☞ 88 ページ）

1 マイコンピュータを開き、製品名のドライブが表示されていることを確認する

- 本機が正常に認識されていれば、マイコンピュータに下記名前のドライブが表示されます。
  内蔵メモリ : PS515
  カード　　: PS515SD*
  * 本機でフォーマット（初期化）したカードが入っている場合です。本機でフォーマットしていないカードが入っている場合や、本機にカードが入っていない場合は、「リムーバルディスク」と表示されます。

●表示されない場合
☞**「故障かな？と思ったら（よくあるご質問）」（102 ページ）**

2 製品名のドライブを開く

3 本機のフォルダ / ファイルを確認する
☞**「フォルダとファイルの構成」（23 ページ）**

ご注意

- 録音用フォルダ（「MIC_A」〜「MIC_D」、「LINE」）、および「RECYCLE」フォルダの名前や各フォルダ内のファイルの名前を変更しないでください。本機で再生できなくなります。

録音したファイルをパソコンに保存する

パソコンに接続する（☞ 88 ページ）

1 マイコンピュータから「PS515」ドライブを開く

2 パソコンに保存したい音声ファイルが入っているフォルダ開く

- 以降は「MIC_A」フォルダを開いた場合で説明します。

3 コピーの準備をする

① パソコンに保存したい音声ファイルの上で右クリックします。

② 表示されるメニューから「コピー」をクリックします。

- これでコピーの準備ができました。

4 保存先のフォルダを開く

- 音声ファイルを保存したいパソコン側のフォルダを開いてください。
  以降はパソコン側の「マイミュージック」フォルダを開いた場合で説明します。

5 パソコンに保存する

① 上部メニューバーから「編集」をクリックします。

②「貼り付け」をクリックします。

- 保存先のフォルダにも同じ名前のファイルが作成されたら保存完了です。

6 本機をパソコンから取り外す
（☞ 89 ページ）

ご注意

- パソコン画面でコピー中の画面が消えても、本機の画面で「転送中」表示となっている場合はまだデータを転送中ですので、USB 接続を外さないでください

パソコンから本機にファイルをコピーする

パソコンに保存した録音ファイルをもう一度本機に戻したり、音楽 CD や語学 CD から取り込んだファイルを本機に転送する方法について説明します。パソコンから本機にファイルをコピーする場合は、本機の MUSIC（音楽用）フォルダに転送してください。

パソコンに接続する（☞ 88 ページ）

1 本機にコピーしたいファイルが入っているパソコン側のフォルダ開く

- 以降はパソコン側の「マイミュージック」フォルダを開いた場合で説明します。

2 コピーの準備をする

① 本機にコピーしたい音声ファイルの上で右クリックします。

② 表示されるメニューから「コピー」をクリックします。

- これでコピーの準備ができました。

3 本機の MUSIC フォルダを開く

☞ **「パソコンで本機のフォルダ / ファイルを確認する」（91 ページ）**

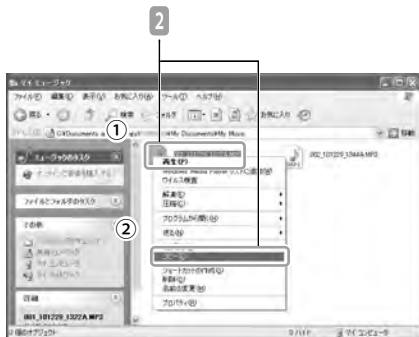
4 コピーを開始する

① MUSIC フォルダの上部メニューバーから「編集」をクリックします。

②「貼り付け」をクリックします。

5 本機をパソコンから取り外す（☞ 89 ページ）

ご注意

- パソコン画面でコピー中の画面が消えても、本機の画面で「転送中」表示となっている場合はまだデータを転送中ですので、USB 接続を外さないでください。
- 元のフォルダに戻す場合は、ファイル名規則（☞ 24 ページ）に沿った名前であることを確認してから元のフォルダにコピーしてください。

録音したファイルを CD-R/RW にコピーする

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。以降の手順は、本機で録音した音声ファイルを、［マイ ドキュメント］の［マイ ミュージック］に保存した状態で説明しています。

- **CD-R/RW にコピー中はノイズ混入の原因になりますので、他の操作を行わないでください。**

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

- ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］をクリックして、Windows Media Player11 を起動します。

2 上部タスクバーから［書き込み］タブをクリックする

- 挿入した CD の情報と、書き込みリストが表示されます。

3 再度、［書き込み］タブをクリックし、［オーディオ CD］か［データ CD］を選ぶ

- オーディオ CD:
  CD-DA 形式に変換して CD-R/RW にコピーします。CD-R 対応のオーディオ機器で再生できます。
- データ CD:
  本機で録音した形式のまま CD-R/RW にコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。

ご注意

- オーディオ CD を選択して CD-R/RW にコピーする場合、CD の容量によって最大で以下の記録時間となります。（実際はこれより短くなる場合があります）
  650MB : 74 分
  700MB : 80 分
- コピーしたい音声ファイルが上記時間以上のときは、あらかじめ本機でファイル分割してください。
  ☞**「ファイルを 2 つに分割する（ファイル分割）」（73 ページ）**

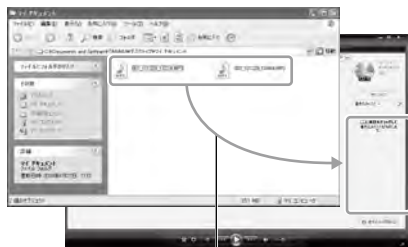
4 CD-R にコピーしたいファイルが入っているパソコン側のフォルダ開く

- 以降はパソコン側の「マイミュージック」フォルダを開いた場合で説明します。

5 CD-R にコピーしたいファイルを、書き込みリストにドラッグ＆ドロップして追加する

- ドラッグ＆ドロップとは、パソコン画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態で、マウスの左ボタンをクリックしたまま移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）操作のことです。

6 ［書き込みの開始］をクリックする

- CD-R への書き込みが開始されます。ノイズ混入の原因となりますので、書き込みが終了するまで他の操作を行わないでください。

ご注意

- 手順 5 ～ 6 において、書き込みリストに追加したファイルの再生時間が表示されていない場合、書き込みエラーとなります。この場合は一度そのファイルをダブルクリックして再生してください。時間が表示されるようになり、書き込みもできるようになります。

音楽を聴くには

音楽 CD や語学 CD、音楽配信サービスから音楽ファイルをパソコンに取り込み、本機に転送して再生することができます。本機で再生可能な音楽ファイルは、MP3、WMA、WAV（本機で録音したファイルのみ）ファイルです。

音楽 CD を記録する場合	音楽配信サービスを利用する場合
使って CD から音楽ファイルを作成（リッピング）します。 ☞「**音楽ファイルを作成する（CD リッピング）**」（**97 ページ**）	WMA 形式に対応している音楽配信ホームページから音楽ファイルを購入します。 本機は PD-DRM に対応しています（DRM10 には対応していません）。
▼	▼
エクスプローラーで音楽ファイルをコピーします。 ☞「**パソコンから本機にファイルをコピーする**」（**93 ページ**）	Windows Media Player を使って音楽ファイルを転送します。

ご注意

- Windows Media Player を使った音楽ファイルの転送方法については、弊社 Web サイトをご参照ください。
  http://jp.sanyo.com/icr/support/
- 音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き WMA ファイルは、ポータブルデバイス（本機）などへの転送が制限されている場合があります。
- お客さまが取得した MP3、WMA、WAV 形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で複製や配布をしたり、インターネットへの掲載などに使用することは固く禁じられております。
- 本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、または音楽ファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。
- iTunes で作成・購入可能な AAC ファイル（拡張子「m4a」など）は再生できません。
- WMA 型式の音楽ファイルであっても、WMA Pro、WMA Lossless、WMA Voice には対応していません。

音楽ファイルを作成する（CD リッピング）

音楽 CD や語学 CD などから本機で再生可能なファイル（MP3 または WMA）を作成し、パソコンに取り込む方法について説明します。

1 音楽 CD をパソコンの CD ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

- ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］をクリックして、Windows Media Player11 を起動します。

2 上部タスクバーから［取り込み］タブをクリックする

- インターネット接続環境にある場合、自動的に CD の曲情報が検索されます。インターネットに接続していない場合や、CD の種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

3 再度、［取り込み］タブをクリックし、［形式］→［MP3］を選ぶ

4 取り込みたい曲にチェックをつける。

5 ［取り込みの開始］をクリックする

- CD の取り込みが開始されます。ノイズ混入の原因となりますので、取り込みが終了するまで他の操作を行わないでください。

ヒント

- 取り込まれたファイルは、Windows Media Player の初期設定では、［マイミュージック］フォルダにアーティストやアルバムごとに保存されます。
- パソコンに取り込んだ音楽ファイルを本機に転送する方法については、「パソコンから本機にファイルをコピーする」（93 ページ）をご覧ください。

外部ストレージとして使う

本機は IC レコーダーとしての使い方のほかに、USB メモリーや microSD カードリーダー / ライターとしてご使用いただけます。文書や画像データを内蔵メモリーやカードに保存することもできます。

パソコンに接続する（☞ 88 ページ）

（☞ 88 ページ）

1 **本機にコピーしたいファイルが入っているパソコン側のフォルダ開く**

・ 以降はパソコン側の「マイドキュメント」フォルダを開いた場合で説明します。

2 **コピーの準備をする**

① 本機にコピーしたい音声ファイルの上で右クリックします。
② 表示されるメニューから[コピー]をクリックします。

これでコピーの準備ができました。

3 **本機の DATA フォルダを開く**

☞ **「パソコンで本機のフォルダ / ファイルを確認する」（91 ページ）**

4 **コピーを開始する**

① MUSIC フォルダの上部メニューバーから［編集］をクリックします。
② ［貼り付け］をクリックします。

5 **本機をパソコンから取り外す**

（☞ 89 ページ）

ご注意

・ 本機の初期フォルダである、「MIC_A」～「MIC_D」、「LINE」、「MUSIC」、「DATA」、「RECYCLE」フォルダの名前を変更しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
・ パソコン画面でコピー中の画面が消えても、本機の画面で「転送中」表示となっている場合はまだデータを転送中ですので、USB 接続を外さないでください

故障かな？と思ったら（よくあるご質問）

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じたときなどにお確かめください。

症状	原因	解決方法	参照ページ
電源が入らない	電池が正しく入っていない	電池が正しく入っているかご確認ください。	17
	電池が切れている	本体から電池を抜き、正しく入れ直してください。 新しい電池に交換してください。	16
ボタン（スイッチ）を押しても動作しない	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。	17
	USB 接続をしたままである	本機をパソコンから取りはずしてください。	89
カードが認識されない	カードが正しく挿入されていない	本機の電源を切り、カードを入れ直してください。	20
	カードをパソコンなど本機以外でフォーマットした	本機でフォーマットし直してください。	67
エネループが充電できない	電池切換設定が「アルカリ電池」になっている	電池切換設定を「エネループ」にしてください。	84
充電すると「×」が表示される	エネループ充電池以外の電池を充電しようとした 本機に電池を入れずに充電しようとした 電池が正しく入っていない	本機にエネループ充電池を入れて充電してください。	17
	本機の温度が上がっている	本機をパソコンから取りはずして、しばらく放置してから充電し直してください。	89
カレンダーが正しく表示されない	電池を抜いた、または電池切れになってから長い間放置した カレンダー設定をしていない	カレンダー設定（日時）を設定しなおしてください。	19
音声が出ない	音量が小さい	音量を調節してください。	49
録音した音声に音とびが発生している	当社推奨品以外のカードを使用している	当社推奨品のカードをご使用ください。	8
	カードを本機以外でフォーマットした、またはメモリの断片化が進んでいる	カードを本機でフォーマットしてください。	67

症状	原因	解決方法	参照ページ
録音した音声にノイズが聞こえる	マイク録音モード設定やマイク感度設定が適切でない	マイク録音モードやマイク感度を切り換えて試し録りしながら、最適な録音環境に設定してください。	33
録音用フォルダ（MIC_A ～ D、LINE、🗑）のファイルが再生できない	ファイル名が規定外に変更されている	MIC_A ～ D、LINE、🗑のファイルは、パソコンでファイル名を変更すると本機で再生できなくなります。MUSIC（M）フォルダに転送すると本機でも再生できます。	24、77
	本機以外で録音した WAV 形式の音声ファイルではない	本機以外で録音した WAV 形式の音声ファイルは本機では再生できません。本機で録音してください。	27
	転送先が異なる	パソコンからファイル転送する際、録音用フォルダに入れても、本機で再生できません。MUSIC（M）フォルダに転送してください。	93
録音した音声に音割れ（音の歪み）が発生している	マイク感度が適切でない	マイク感度設定を「低」にしてください。それでも音割れする場合は、Low Cut フィルター設定を ON、マイク ALC 設定を OFF にし、録音レベルを調整して録音してください。	34
録音しているのにレベルメーターが動かない 録音したファイルが無音になる	マイク ALC が OFF で、マイク感度が「0」になっている	録音レベルを調整する	35
MUSIC（M）フォルダのファイルが正しく再生できない	再生できるファイル形式ではない	正常に再生できる WMA または MP3 形式のファイルをご使用ください。	96
	本機以外で録音した WAV 形式の音声ファイルは再生できない	本機で録音してください。	96
	本機で再生できないファイルになっている	エンコーダー（MP3/WMA）ソフトを別のもに変えてファイルを作成してください。	96
	プレイリストに書かれているファイルが MUSIC フォルダにない	MUSIC フォルダにそのファイルを転送するか、プレイリストからそのファイル名を削除してください。	63、64

症状	原因	解決方法	参照ページ
MUSIC（M）フォルダのファイルが正しく再生できない	転送方法が異なる	著作権保護されているファイルは、エクスプローラーで転送しても再生できません。Windows Media Player で転送してください。	96
	再生できるファイル数を超えている	１つのフォルダにつき最大 199 ファイル再生できます。サブフォルダがある場合は、サブフォルダの数だけ、再生できるファイル数が減ります。別のフォルダに保存してください。	25
ファイルを削除したのに空き容量が増えない	ゴミ箱機能設定が ON になっている	ゴミ箱のファイルを消去してください。	69
ファイル分割ができない	内蔵メモリ、カードの空き容量が足りない	不要なファイルを消去してください。また、ゴミ箱を空にして空き容量を確保してください。	65、69
	ファイルの録音時間が短い	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。	73
	フォルダ内の最大ファイル数 199 を超えている	不要なファイルを消去してください。また、ゴミ箱を空にして空き容量を確保してください。	65
ファイル消去ができない	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている	本機をパソコンに接続し、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。 カードのフォーマットをおこなってください。	67、91
タイマーが正常に動作しない（予約録音ができていなかった）	カレンダーが正しく設定されていない	正しい日時でカレンダー設定をおこなってください。	19
	録音先のフォルダがいっぱいになっている	不要なファイルを消去してください。	65
	電池の残量がない	電池を交換してください。	16
	内蔵メモリ、カードの空き容量がない	不要なファイルを消去してください。	65
	録音先が SD カードなのに本機にカードが入っていない	本機にカードを取りつけてください。	20
	パソコンなどに接続している	パソコンから取り外してください。	89

症状	原因	解決方法	参照ページ
タイマーが正常に動作しない（予約録音ができていなかった）	タイマー再生時刻になっても本機を使用している（停止中を除く）	現操作が優先されます。操作を中止し基本画面に戻ってください。	27、49
	タイマー録音開始時刻になっても録音を継続している	現録音が優先されます。録音を停止してください。ただし、録音以外の操作で使用している場合は、タイマー録音が優先されます。	27
パソコン接続時に「PS515」が表示されない	パソコンと本機が正しく接続されていない	専用 USB 接続ケーブルが本機側、パソコン側共に最後までしっかりと接続されていることを確認してください。	88
	Window 98、98SE、2000、Me および Macintosh のパソコンに接続している	Window 98、98SE、2000、Me および Macintosh はサポートしていません。	87
	パソコンからの電源供給が不十分である	接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。	87
		パソコンに USB 端子が複数ある場合（前面・背面など）は、別の USB 端子に本機を接続してください。	87
		バスパワー型 USB ハブ（USB 端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンの USB 端子に直接本機を接続してください。	87
	ネットワークドライブが割り当てられている	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名のアルファベット）がぶつかり、「PS515」が作成されていない場合がありますので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから接続し直してください。	87

● その他の「よくあるご質問」、本機ファームウェアのアップデート情報については、下記の URL をご参照ください。

http://jp.sanyo.com/icr/support/

主な仕様

■本体の仕様

対応OS	Windows 7、Windows Vista、Windows XP
内蔵メモリ	8GB
対応メディア	microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカード ※ 当社推奨カード以外での動作保証はいたしません。 当社基準において動作確認済みのカードをご使用ください。 http://jp.sanyo.com/icr/support/gaibu.html
録音周波数特性	●外部マイク録音時 40 ～ 23,000Hz（PCM 48kHz 16bit 時） 40 ～ 21,000Hz（PCM 44.1kHz 16bit 時） 40 ～ 20,000Hz（MP3 320kbps 時） 40 ～ 20,000Hz（MP3 192kbps 時） 40 ～ 15,000Hz（MP3 128kbps 時） 40 ～ 7,500Hz（MP3 64kbps 時） 40 ～ 6,500Hz（MP3 32kbps 時） ●内蔵マイク録音時 60 ～ 20,000Hz（PCM 録音時） ※ 当社測定条件による（録音条件によっては変わることがあります） ※ MP3 録音時の周波数特性の上限値は、外部マイク録音時の各録音モードに準じます。また、下限値は各録音モード 60Hz となります。
録音フォーマット	MP3、PCM（WAV）
再生フォーマット	MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3）、WMA、PCM（本機で録音したファイルのみ）
再生周波数特性	20 ～ 23,000Hz（48kHz サンプリング周波数時）
サンプリング周波数	16 ～ 48kHz
再生対応ビットレート	16 ～ 320kbps（MP3）、32 ～ 192kbps（WMA） ※ ファイルによっては正常に再生されない場合があります。
入・出力端子	ステレオイヤホン 3.5ø ミニ、ステレオマイク（ライン入力兼用）3.5ø ミニ、USB、microSD カードスロット
動作温度	＋ 5℃～＋ 35℃
定格出力	ステレオイヤホン : 10mW ＋ 10mW（16 Ω負荷時、JEITA/DC） スピーカー : 80mW（16 Ω負荷時、JEITA/DC）
電源	単 4 形エネループ充電池（単 4 形アルカリ乾電池）× 1 本、AC 電源（USB）
充電時間	約 120 分 *1
外形寸法	約 幅 39.9 ×高さ 120.8 ×奥行き 14.8（マイク部 奥行き 23.6）（mm）
質量	約 70.5g（エネループ充電池含む）
付属品	インナーイヤー型ステレオイヤホン (1)、単 4 形エネループ充電池 (1)、ステレオオーディオケーブル (1)、専用 USB 延長ケーブル (1)、ウインドスクリーン (1)、本書（保証書付）(1)、別冊「録音ワンポイントアドバイス」(1)

*1 充電時間はおおよその目安であり、使用環境によって変わります。特に室温35℃前後の非常に暑い場所で充電する場合、充電回路の安全装置が働くため、途中で充電が止まり満充電にならないことがありますので、30℃以下の環境で充電をおすすめします。

■録音モードと録音可能時間

録音モード	内蔵メモリ 8GB	microSD カード /microSDHC カードのサイズ			
		2GB	4GB	8GB	16GB
PCM 48kHz 16bit	11 時間	2 時間 40 分	5 時間 30 分	11 時間	22 時間 50 分
PCM 44.1kHz 16bit	12 時間	3 時間	6 時間	12 時間	24 時間 30 分
MP3 320kbps	54 時間	13 時間 30 分	27 時間	54 時間	108 時間
MP3 192kbps	90 時間	22 時間 30 分	45 時間	90 時間	182 時間
MP3 128bps	136 時間	34 時間	68 時間	136 時間	274 時間
MP3 64kbps	272 時間	68 時間	136 時間 30 分	272 時間	550 時間
MP3 32kbps*[1]	544 時間	136 時間	273 時間	544 時間	1100 時間

*[1] MP3 32kbps はモノラルです。

- 表記の録音時間は目安です。カードのメーカー、仕様により変わることがあります。
- 録音されたファイルが複数あるときは、合計の録音時間はこれより短くなります。
- 録音可能時間とは、本体メモリ、およびカードに何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合のすべてのフォルダの最大合計時間です。

※ 1 ファイルあたりの最長録音時間（連続録音時間）は 2GB までです。録音中のファイルサイズが 2GB を超える場合は、2GB で一旦録音を停止してファイルを作成し、引き続き新しいファイルで録音が再開されます。録音停止から録音再開までの間（2 秒程度）の内容は録音されません。

■電池持続時間

電池の種類 / 録音モード	エネループ充電池			アルカリ乾電池		
	録音時間	再生時間		録音時間	再生時間	
		ステレオイヤホン	スピーカー		ステレオイヤホン	スピーカー
MP3 64kbps*[2]	17 時間	18 時間	15 時間	24 時間	24 時間	17 時間
PCM 44.1kHz 16bit	9 時間	9 時間	8 時間	10 時間	12 時間	9 時間

*[2] MP3 64kbps はステレオです。

（録音環境）録音 LED：OFF、バックライト：OFF、録音モニター：なし、マイク ALC：ON
低域補正マイク：OFF
（再生環境）ステレオイヤホン再生時 / スピーカー再生時、バックライト：OFF、サウンド EQ：FLAT

- 上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
電池持続時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。
当社製充電池（エネループ充電池）、もしくはアルカリ乾電池以外での動作保証はいたしません。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

■ 著作権について

放送や MD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

■商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows Media™ および Windows® ロゴは米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Windows Media™ Player は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- microSDHC ロゴは商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載しているイラストは説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

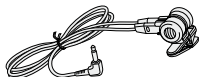
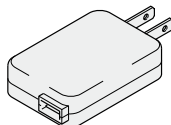
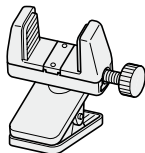
関連商品について

IC レコーダーをより便利にご使用いただくための別売品のご紹介です。

<table>
<tr>
<td>ステレオ 3 WAY マイク
品番 : HM-250

携帯電話、ビジネスホンや家庭用固定電話の録音、バイノーラル録音、ポケット録音に対応した多機能 3 WAY マイク。</td>
<td>USB 対応 AC アダプター
品番 : D-5V-USB2

AC 駆動が可能になります。</td>
</tr>
<tr>
<td>三脚穴付きクリップスタンド
品番 : KA-ICRST1

カメラ用三脚（市販品）に装着したり、クリップで楽譜スタンドに挟んだりできます。また、机上に置けばそのままスタンドとしても使えます。</td>
<td></td>
</tr>
</table>

アフターサービスとお客さまご相談窓口

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は裏表紙と 111 ページ「無料修理規定」をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6 年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口（このページ）」にお問い合わせください

修理を依頼されるときは…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1 故障の状況（できるだけくわしく）

2 品番（ICR-PS515RM）

3 お買い上げ年月日（保証書に記入）

4 おなまえ、おところ、電話番号

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談＜三洋電機株式会社お客さまセンター＞

受付時間：（365 日）9:00 ～ 18:30

総合相談窓口	050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は**大阪 (06)-6994-9570** へおかけください。
※ 郵便または FAX でご相談される場合

三洋電機株式会社お客さまセンター　〒 570-8677 大阪府守口市京阪本通 2-5-5
FAX：大阪 (06)-6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間：　月曜日～金曜日 9:00 ～ 18:30（7 月～ 8 月）8:45 ～ 19:30
土曜・日曜・祝日・当社休日 9:00 ～ 17:30

<table>
<tr><th colspan="4">修理相談窓口</th></tr>
<tr><td rowspan="3">東京コールセンター
(050- がご利用できない場合は、
東京 03-5302-3401 へおかけください)</td><td>北海道地区</td><td colspan="2">050-3116-2333</td></tr>
<tr><td>東北地区</td><td colspan="2">050-3116-2444</td></tr>
<tr><td>関東・甲信越地区</td><td colspan="2">050-3116-2222</td></tr>
<tr><td rowspan="6">大阪コールセンター
(050- がご利用できない場合は、
大阪 06-4250-8400 へおかけください)</td><td>近畿地区</td><td colspan="2">050-3116-2555</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中部・北陸地区</td><td>北陸</td><td>050-3116-2555</td></tr>
<tr><td>中部</td><td>050-3116-2666
沼津地区は、
050-3116-2222</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中国・四国地区</td><td>中国</td><td>050-3116-2777</td></tr>
<tr><td>四国</td><td>050-3116-2555</td></tr>
<tr><td>九州地区</td><td colspan="2">050-3116-2888</td></tr>
</table>

沖縄地区	098-944-5018

(※) 沖縄地区の受付時間：月曜日～土曜日　9:00 ～ 17:30 日曜、祝日及び当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間：　月曜日～土曜日 9：00 ～ 17：30（日曜、祝日、当社休日を除く）
※一部、土曜日も休日のサービス拠点があります。

家電商品の持込み修理および部品のご注文については、各地区のサービス拠点で承っております。
最寄の拠点は弊社ホームページ http://jp.sanyo.com もしくは上記コールセンターでご確認ください。

●上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

■お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://jp.sanyo.com をご覧ください。

さくいん

無料修理規定

裏表紙の保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載に基づき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と保証書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
保証書の★印欄に記載のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。
●品番は色記号を省略しています。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損。
　ロ．お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
　ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
　ニ．業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
　ホ．保証書の提示がないとき。
　ヘ．保証書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ト．消耗部品（例えば電池など）の交換。
2．保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客さまの負担となります。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4．ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、三洋電機お客さまご相談窓口（107 ページ）をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合せください。
5．保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
6．保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

● 裏表紙の保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または三洋電機お客さまご相談窓口（107 ページ）にお問い合わせください。
● 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは 107 ページをご覧ください。